（康德九年十一月十日 第三種郵便物認可）

新京日日新聞

夕刊　一月十一日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 郵稅一ヶ月 五錢 廣告料金 普通一行 一圓五十錢 特別同 二圓五十錢

發行所 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波薫
印刷人 水越內之介

政局の一新へ 首相、心境を轉換
あす、閣議に決意表明

阿部首相

【東京國通】衆議院有志代議士會の反政府運動を繞つて舊臘來混迷狀態を續けてゐた政局は去る八日の阿部首相と畑陸相との會見を契機として愈よ緊張の度を加へ一方阿部首相は各方面の情勢を基礎として政局に對する陸軍側の見解に深き檢討を加へた結果、政局の一新を決意するに至り十日朝來今後政府の執るべき具體的方途につき苦慮し同日內閣にあつて終始强硬論を主張して時局乘切りを進言して來た秋田厚相を招致して率直にその意見を質し次いで永田鐵相と會見、その意向を聽取して政局一新の具體策に資し一方秋田厚相は遞相官邸に永井遞相を訪問、會見して首相との會見に依つて看取した首相の心境を述べ今後の方途につき協議する處あつたが、兩相とも首相の最後的決意を看取して從來の態度を漸く放棄したものの如く、また他の閣僚もまた首相より正式決意の表明はないが以心傳心政局一新の已むべからざることを觀念してゐるものと見られ、今や殘された問題は首相の決意を何日頃發表するかといふことのみとなつた、然し政局推移が斯く表面化した以上最早や徒らに遷延を許されぬので、阿部首相は畑陸相よりの數度の進言に對し何分の意志表示を致し、十二日の定例閣議において全閣僚に正式政局の一新の具體化につき率直にその決意を表明した上、同日或は諸般の問題を提議、遲くも十三日中には政局一新の決意を表明する模樣で茲一兩日中の政局は最も重視されるに至つた

政局安定方策に 陸軍首腦協議

【東京國通】陸軍では十日午後陸相官邸に於ける軍事參議會會同後畑陸相、阿南次官、澤田參謀次長、武藤軍務局長等參集し政局の安定方策に關し重要協議をなした

松井、久原兩參議 首相と會見

【東京國通】松井石根、久原房之助兩參議は十一日午前九時半相前後して首相官邸に入り定例參議會開會に先立つて阿部首相と會見種々懇談した

海軍軍事參議官會議

【東京國通】海軍では十日午前十一時より海相官邸に定例軍事參議官會議を開催 大角、永野、百武、米內、加藤の各參議官、海軍省より吉田海相、住山次官、阿部軍務局長が參集し支那新政權問題を中心に種々懇談午餐をともにして散會した

新政權成立へ拍車
興亞院連絡部長官會議開く

【南京十日發國通】新中央政權成立後の支援方針を決定する興亞院連絡部長官會議は愈よ十一日から南京で開催されることになつたが第一日は東亞倶樂部に於て柳川總務長官以下酒井蒙疆、喜多華北、津田華中、水戸廈門各連絡部長官、石川政務第一課長、吉川中佐等が會同主として興亞院關係の打合せを行ひ翌十二日は總軍司令部內で引續き會議を開催、柳川長官よりわが基本方策に關して說明し更に新政權成立後の支援方針に付き具體的協議を行ふことになつてゐる、また新政權への具體的支援方策の決定は誕生を目睫に控へてゐる新政府の成立に一段の拍車をかけるものとして極めて注目される

冬季攻勢の戰果　南寧入城の上田部隊（上）と我が軍の進擊路上に積まれた鹵獲品

駐日洪公使 信任狀捧呈 阮大使を訪問

【東京國通】舊臘二十一日天皇陛下に謁見仰せ付けられ恭々しく信任狀を捧呈した初代駐日ハンガリー國特命全權公使ジョルジュ・ギガ氏は新春早々の一月十日午後三時半麻布櫻田町の駐日滿洲國大使館を訪問阮大使に着任の挨拶をなし三十分餘に亘つて種々懇談を交へ同四時辭去した 會見後ギガ公使は語る

駐日ハンガリー初代公使として日本に赴任したことは私の最も光榮とするところであります、又ハンガリー國が滿洲國を承認した滿一周年目に當る今日駐日滿洲國大使館を訪問阮大使閣下と固い握手を交したといふことは何か奇しき緣のやうな氣が致します、今後は本國の爲、日滿兩國の爲大いに奮闘したい考へです

ギガ公使歸館後阮大使は悅を滿面に浮べ乍ら

お友達が又一人增えました、お友達の增えることはお互に强くなること、榮えることです、ギガ公使閣下は滿洲に未だ旅行なされたことがないさうですから本國の承認があれば是非一度滿洲を視察して戴きたいと思つてお勸めした次第です

と語つた

全滿商工公會 聯合會結成再審議
滿洲駐在特置問題は不採擇

本年初の全滿省商工公會聯合協議會は十日午前十時より新京商工公會會議室において開催、新京より丁會長、高橋、石崎兩副會長以下哈爾濱、奉天、安東その他各省代表卅餘名出席

一、日滿實業協會東京本部よりの提案にかゝる滿洲駐在特置員經費支辨の件
一、全滿商工公會聯合會結成の件

につき協議を行つた、第一案たる滿洲駐在特置員問題は特置員設置の目的たる滿洲經濟情報蒐集は現在日滿實業協會滿洲支部の存在することを全く無視した本部の壟斷に等しく、況んや右特置員設置に關する經費として月額千圓を滿洲側において負擔するは現在の經濟的貧困下にある滿洲商工公會としては決して輕量ならざるものあり、更に右問題の發生は一面實業協會支部の弱體化を暴露したるものと云ふべく、此の機會に滿洲本部の强化案こそ研究さるべしと特置員設置問題は一應不採擇とし、第二案たる全滿商工公會聯合會結成については現在の省商工公會聯合會の活動を積極化することによつて目的達成せらるべしとの議論あつて決定を見ず、新京、哈爾濱、奉天、安東、牡丹江の五主要公會代表においてそれぞれ再審議を行ひ、次回に持ち寄ることゝなつた、尚會後午後三時より經濟部松田次長並に齋藤商事科長との間に統制經濟强化に伴ふ卸、小賣、輸出入業者の既得權益問題並に同業組合法制定、販賣業許可制等につき隔意なき意見の交換があり、政府側より

從來の業者に對する權益は統制强化後と雖も飽く迄尊重する

旨闡明、更に組合法、許可制制定等についても事前に公會員にこれが諒解を求めることを言明した

滿炭、北部開發に重點
新施設を製鐵用炭增産へ
密山に開發局設置

從來滿炭の石炭增産の編輯をなしてゐた南滿重點主義は阜新に於ける日産一萬噸計畫の實現をはじめ可成の成績を收めるに至つてゐるが、同社では日滿の現狀に鑑み、最も增産を要望される製鐵用炭を豐富に埋藏する密山、鶴岡兩炭田を中心とする北部諸炭田の開發に重點を轉換することゝなり今回新たに滿炭北部開發局を兩炭田の中心たる密山縣滴道に設置することゝなつた、局長は林理事が專任となり工作部工事課長原技師、前和龍炭礦長眞鍋技師の兩氏を最高首腦部として現地炭礦の指導及び援助に當ることになつてゐるが、その他の技術スタッフに付ては目下人選中であり近く正式決定を見る筈である、兩炭田の粘結炭埋藏量は實に七十八億噸に上り修正五ヶ年計畫の最終年度たる八年度の出炭目標は鶴岡百九十萬噸、密山百三十萬噸、城子河六十萬噸、恒山六十萬噸であるが、目下關係方面で審議中の再修正計畫によれば十年度の目標鶴岡五百萬噸、密山二百萬噸、城子河二百五十萬噸、恒山二百五十萬噸にのぼつてをり、これが完遂を期する滿炭開發重點の轉換は期待されてゐる

增産豫定を突破
滿炭の出炭量好成績

昨年下期より漸次深刻化した未曾有の石炭飢饉に對處して滿炭では增産計畫完遂に大童の活動を續け、苦力の大量募集、資材の手當等に萬全を期したゝめ十月より漸く增産傾向に向ひ豫定計畫に對し十月九十六%、十一月九十五%と好成績を續け、十二月は遂に豫定計畫七十三萬噸を突破して七十五萬噸餘の大量出炭をみるに至つた、これは十一月の總出炭高に比し十萬噸餘の增産となつてをり滿炭創業以來の最高成績であるがこの出炭成績の好調により三月迄には豫定計畫の九十%を突破する七百萬噸臺突破が確實となつた

皇軍破竹の猛攻
賞金どころか屍を曝す廣東、廣西軍

【廣東十日發國通】欽州、南寧附近警備中のわが〇〇部隊は八日仲龍（南寧南方卅六キロ）附近に蠢動する敵約一千を急襲、これに潰滅的大打擊を與へ、また〇〇部隊は吳村墟（南寧南西廿キロ）西南方高地に數段の陣地を構築して守備にあたつてゐる第百十三、百八十八師兩混合部隊に對し八日以來猛攻中で敵は漸次後退しつゝあり今や欽州、南寧方面の交通路は完全にわが軍の手に確保されてゐる 三日の桂林華僑日報及び四日のサウス・チャイナ・ポストによれば 廣東、廣西兩軍は白崇禧より南寧、欽州間の日本軍を一掃すべき嚴命を受け、これに成功せば五十萬ドルの賞金を與へられると報じてゐるが、この狀態では白崇禧の五十萬ドルの賞金はおろか欽寧方面に蠢動せる支那軍はわが軍破竹の猛攻の前に徒らに屍を廣西の野に曝すのみである

日ソ通商交渉を開始
東郷、ミコヤン初會談

【モスクワ十日發國通】日ソ通商交渉は曩に東郷大使ミコヤン外國貿易人民委員の兩者間に原則的諸問題につき豫備交渉が進められてゐたが、十日よりいよいよ本格的交渉に入り、正午より一時半まで外國貿易人民委員部にて第一回會見が行はれた

日本側よりは東郷大使、松島公使、齋藤二等書記官、田中事務官、野口、三谷兩通譯出席、ソ聯側からはミコヤン外國貿易人民委員、カガノヴィッチ外國貿易人民委員部次長、ラジン東方局區長、ワクレンコ駐日通商代表ヤショニコフ日本係等出席、まづ東郷大使より通商協定案を提示し日本側の意向を詳細說明したるに對しミコヤン委員よりも二三意見の開陳があつた上種々意見を交換して散會した、なほ引續き第二回會見が數日中に行はれる豫定で東郷大使は松島公使と共に今後數回ミコヤン委員との折衝に當る

・・駐日ソ聯大使・・野村外相要談

【東京國通】スメターニン駐日ソ聯大使は十日午後五時外務省に野村外相を訪問、約一時間に亘り要談した

星野長官入京

【東京國通】星野總務長官は對日物資需給案について日本關係當局との間に本年度物動計畫大綱方針折衝並に諸般の事務打合せのため十日午後四時四十五分着特急富士號で入京、直ちに宿舍山王ホテルに入つた

柏村次長歸滿

【東京國通】舊臘二十九日上京した柏村產業部次長はその後關係各方面と大豆、大豆粕、石炭の輸出量その他につき協議中であつたが麻袋問題を殘すほかほゞ兩國の間に意見の一致をみたので、麻袋問題は十日上京の星野總務長官に協議の經過を報告、日本側との折衝を引繼ぎ十一日午後三時東京驛發特急富士號で西下、朝鮮經由歸滿することゝなつた

平島支社長 總會出席東上

滿鐵新京支社長平島理事は二十日東京で開かれる會社增資に關する臨時株主總會に列席するため十四日午前九時三十分發列車で出發十五日大連出帆の連絡船で海路東上の豫定である

人事往來

着京
▲谷川善次郎氏（滿洲ガス會社社長）十一日來京ヤマトホテル
▲松本敦史氏（建築設計業）サクラホテル
▲小田德二氏（滿蒙醋酸會社奉天支店）三國ホテル
▲山本宇之助氏（高木商店）同
▲松下駒藏氏（三浦洋行）同
▲窪倉英一氏（阪本洋行）同
▲藤枝廣二郎氏（滿洲電業科學工業會社）同

出發
▲竹谷傳氏（滿洲杉山公司）大連へ
▲石野俊夫氏（大阪帝大助教授）內地へ
▲三井權三郎氏（進和商會）大連へ
▲沼田篤次郎氏（鐵工業）鞍山へ
▲眞田春男氏（錦州商工公會）錦州へ
▲山根高三氏（承德商工公會）承德へ
▲須原正太郎氏（會社員）錦州へ
▲町田勝氏（官吏）牡丹江へ

興亞の原動力に

大工業地帶を—
滿鮮國境に建設
結實するかこの大計畫

【臨江十一日發國通】時局の脚光下に豐富な埋藏資源の全貌を明かにした東邊道一帶の鐵鑛並びに石炭を活用すべく東邊道開發會社では日滿各地に資源を大量に素材のまゝ移輸出するほか通化省通化縣二道江に大製鐵所を

建設

してこゝ二、三年後には百萬噸製鐵の全機能を發揮、興亞の原動力生産の意氣に燃えてゐるが、品位六十二%といふ世界有數の優秀鐵鑛を誇る同省臨江縣大栗子溝採鑛所では更に一步進め同所附近の煙筒溝採炭所の豐富な石炭と睨み合せ鴨綠江を運河視するばかりか鮮滿國境を超越した文字通り日滿一體の大工業地帶建設計畫を樹て「科學者の夢ではなく眞に國家を益する採算ある大事業」としての實現化に努力することゝなつた、この二千六百年の輝く歷年を記念するに相應しい興亞計畫は染谷二男所長が夙に提唱し奧村愼次常務らの賛同を得て日滿兩政府當局の

考慮

を求めてゐるものであるが、その大要は鴨綠江を挾む臨江（滿洲）中江鎭（朝鮮）の兩街邑中心に東西廿五キロ、南北廿キロに亘る地區を大工業街化せんとするもので、まづ中江鎭上流地區に大ダムを設け水力發電し、この附近に煙筒溝炭を組み合せた電氣化學冶金工場を建設するほか、大栗子溝製鐵所下流五萬坪の地と同對岸朝鮮側に平爐による製鐵所並びに附帶工業、また朝鮮土城に大規模の鐵工業を振興し一方臨江、大栗子溝北方廣場を住宅地區に、中江鎭を商業地區に

指定

せんとする完全な模範的都計まで考慮されてゐる、この大計畫の最大の障碍は國境に跨るための稅關その他の各種事務であるが、立案者側ではこの地帶を特殊保稅地區とすることによつて容易に解決出來るとしてをり國家百年の大計のために一日も早く實現させたいと意氣込んでゐる

染谷所長談 ほんの私案ではありますが、折角鐵と石炭を兩手に持ちながらこれを生のまゝで運搬するのでは費用倒れで國家全體のための損失だと思ひます、鐵など製品にすれば三分の一の輸送能力ですむ程ですから科學者の白日夢として默過せず眞面目に檢討して戴きたいと考へてゐます

その日〳〵

◈轉換と稱するがどういふ轉換であるのか、不幸國民はこれを知らぬ

◈われ〳〵から遊離した場所ですべてが決定して行くといふのでは困る

◈政府、政黨、重臣——さう並べて書いてみて、さて何と遙かな存在なことか

◈民意暢達——堂々とそれをいふ滿洲國はたしかに王道國だて

◈尤もこの王道も、說くだけに豫算を民生向上に出さんとありしかめ面してる

相次ぐ献金
海軍武官府への赤誠

銃後國民の皇軍將兵への感謝、國防觀念の強化は支那事變進展と共に益す昂揚されつゝあるが、昨年十二月中に於ける新京日本海軍武官府への恤兵献金、國防献金は左の如くで國民の熱誠に武官府でも感激してゐる

即ち新京三笠町三ノ一七銀水樓主金始明氏が恤兵金として五十圓、四平街市中央通植半旅館內植木茂助氏が國防献金二百圓

新京櫻木町三丁目二三中野八松氏が恤兵金三百圓大連市榮町二番地四〇佐藤武男氏が同樣一千圓、合計一千五百五十圓をそれぞれ武官府へ提出したなほ昭和十四年度同武官府への献金は累計九萬九千六百四十三圓八十三錢となつてゐる

寒波 ちよつと休憩
雪で再明粧の暖かさ

寒波の襲來にふるへ上つた國都も十日から四溫に入つたものか午後から水銀柱の逆騰となり夜七時十分から霏々たる粉雪のお見舞ひを受け、降つたりやんだりの後、新春の國都を銀一色に再明粧しつゝ十一日を迎へた、午前六時までの積雪は二センチに達したが同時刻の最低氣溫は零下十三度一といふ一月には珍しい暖かさであつた【中央觀象臺談】黑龍江方面から哈爾濱、新京、大連の南側を通つて黃河流域に不連續線が延びてゐます、このため氣壓配置が非常に不安定となりこの雪を齎したものですしかしこの狀態も今明日で解消するでせう【寫眞は けさ再明粧の市街風景】

繃帶の主はまた別人
三笠町殺人強盜事件　犯人逮捕未だし

事件發生以來零下三十度餘の酷寒を衝いて市內並に近郊に涙ぐましい捜査を續けつゝある三笠町殺人强盜犯捜査本部では十日各班から齎らされる聞込み情報によりて次第に犯人の姿を朧ろげ乍らも捜査線上に浮び上らせて來たがこれに活氣づいた捜査本部では白雪粉々として降りしきる十一日早朝から刑事を八方に飛ばし犯人捜査に全力をあげてゐる指令を受けた捜査班が市中は勿論首都背後地を片つ端しから虱つぶしに探査してゐる最中、十一日午前十一時伊通河畔の檢索に當つてゐた自由見込捜査班に附近土着の一滿人が「實は伊通河洪泰橋附近の苦力小屋に四人連で中一名が頭部に繃帶してゐたのを見ました」と知らせたのでそれツとばかり現場に急行散在してゐる苦力小屋を次次に捜査、犯人と覺しき四人を檢擧嚴重な取調べを開始すると共に證據品の蒐集に努めたが三笠町殺人事件に關聯する樣な何物も發見し得なかつた

而し捜査本部では事件發生以來滿人がかくも自發的に犯人の所在を知らした事がなく積極的に協力して來る滿人に對し心から感謝してゐる

武藏關の斷髪式

【東京國通】病疾遂に癒えず前途を惜しまれて引退、年寄出來山を襲名した横綱武藏山の斷髪式は十日午後兩國出羽の海部屋で行はれた、先づ竹下會長が鋏を入れ次いで出羽の海親方以下關係者が順次鋏を入れたが武藏山は相撲景氣に湧く春場所開幕を控へ如何にも感慨無量の面持ちであつた

？の三、三〇六號（滿炭）現はる
吉林市內に乘棄て
犯人の姿は見えず

三笠町殺人强盜事件と相前後して發生した興亞街六一一號滿炭社宅前からあの巨大な姿を消した三九年型フオード三三〇六號車の行方について所轄順天署では强盜犯人と共に極力その捜査に當つてゐたことは既報の如くであるが、事件發生以來敏腕刑事が不休の捜査により乘逃げ犯人は吉林方面に逃走した端緒を摑むに至つたので、俄然緊張した同署では此の旨吉林警察廳に手配、犯人檢擧に協力を求めてゐたところ、十日午後四時頃同廳より三日以前から無所屬のフオード三九型自動車が市內に放棄されてあるのを探知、現場に赴き取調べた結果果して手配中の滿炭自動車三三〇六號と判明、盜難自動車發見さるの入電があつたが、同署ではこれについて[illegible]

吉林タクシーも現はる

なほ吉林タクシー前から消えた同社タクシー一五三八號車はその後同廳に於て極力捜査を開始してゐたが、これ又同樣市內に乘棄てられてあるのを九日午後十一時二十分發見した、これに依つて强盜事件と共に市民の耳朶を驚かした自動車竊盜事件は一部の解決を見たわけである

大型（百人乘り）バスと
二輛連結バス
足難緩和 交通會社の妙案

如何級數的膨脹をつゞける國都市民の悩みの一つ交通難の問題は朝夕のラッシュを殺人化しつゝ一向解決されさうもなく市民の足をあづかるバス運營の拙策に非難の聲が注がれてゐるが新京交通會社では三十萬圓の赤字を物ともせず康德七年度の新事業として百人乘り大型バスの配車並に二輛連結バスの運轉を以て一擧これを解決、國都サラリーマンの憂鬱を吹飛ばすことゝなつた、この連結バスの運轉は松本同社總務課長が青森縣淺虫溫泉の省線バス視察のお土產案で上海のやうに特別な連結用車を用ひるものは兎も角同社が計畫するバス自體の連結は世界でも珍しくその效果を樂しまれてゐる

中馬交通會社支配人談＝建設途上の國都では人的發展が平面的無限大の擴がりを持つためバス一本槍では無理なので地下鐵など當然生れねばならぬものでせう、しかも乘客員が朝晩か特に多過ぎる特殊狀況から當社では不足臺の大型バスでは五臺のでこれをもつと增やし本年中に百人乘りバスを配車したいと思つてゐます、このほか昨年から年頭にかけ註文した百餘輛の車體が着けばこの混雜も十分緩和出來るつもりです、ガソリンの問題は今のところ大丈夫ですからともかく車輛增車を先決問題としてゐるわけですが現在のバスではお客樣をまるで荷物扱ひにして居り、まことに恐縮してゐます、尙ラッシュには百二十臺、中間時間には七八十臺を運轉するのが理想的なのでとり敢へず二輛連結の自動車を配車すべく研究してゐますこれは鐵道省でも既に試みてゐるところですが後車は車掌一人で濟み、ガソリンの節約になりますか

小麥粉三百萬袋を
舊正前に配給
專賣總局の親心

滿系大衆にとつて嬉しい舊正月は愈よ目睫に迫つたが舊正月になくてはならぬ小麥粉の配給につき循環袋により配給をはかつてゐる專賣總局では尙圓滑を缺く嫌ひがあるため、更に研究の結果すでに準備した小麥粉三百萬袋を舊正月前に全滿に配給御祝儀を豐に行はせることゝなつた

直木軍人後援會長通化へ

滿洲軍人後援會長直木倫太郎氏は十日午前十一時廿五分奉天より空路來通、第八軍管區他各機關を訪問したが、十一日よりは省下各地に於て軍警慰問旁々開發狀況の視察を行ひ、十七日吉林發新京に向ふ

ら一石何鳥かの利益となり新京の如く路面勾配の少くロータリーが完全してゐる都市には妙案と信じます

順天小學校創立三周年記念式

順天小學校では、十一日創立第三周年記念日を迎へ同校講堂に於て午前十時より全職員生徒參列記念式典を擧行三田校長の開校當時の想出を通じての將來への激勵、訓示等あり同十時半式典を閉ぢたが引續き全校兒童等のスケート大會を開催有意義な記念日を送つた【寫眞はスケート大會】

萬壽節慶祝放送
＝滿洲色豊かな第一プロ＝

滿洲國を慶祝一色に塗り潰す二月六日の萬壽節、新京中央放送局では意義深き記念番組を編成し、皇帝陛下の御誕辰を全國民とゝもに慶祝申上げることゝなり第二放送の充實に秘策を練つてゐるが

當日は第一放送においてもまづ午前十時子供の時間「滿人兒童の奉祝唱歌とお話」について午後三時半からの北米西部向け對外放送にも滿洲味たつぷりな滿洲音樂新歌謠曲を送り、夜六時からは對日放送とし日滿兩系兒童共同出演のお話と唱歌及び萬壽節奉祝狀況の錄音を放送

同廿五分から廿分間鹿兒島宮內府次長の「萬壽節の佳節にあたりて」と題する記念放送を全滿及び日本に放送することゝなつた

トラ狩り無用！
酒飢饉＝秋ごろから本格化
＝左黨に辛い豫告

意義一入深い紀元二千六百年の世紀の年は明朗と明けたが、上戶黨にとつては至極憂鬱な話題を提供する年ではある、即ち內地に於ける本年度の酒造石數は昨年より四割八分減となり且つ滿洲にあつても四割減と決定した、隨つて舊臘來初春の訪れと共に酒飢饉をもたらすのではないかと上戶黨に隨分氣をもませて來た、

現在國都の實情から眺めても內地製の銘酒は一流料理店、割烹、カフエーに求めるのみで二流以下には絕對に求めることが出來ない所謂輸入制限に基く品薄を如實に物語るものであるが專門家の見るところ本年度の輸入酒は從來より七割を減じ僅かに三割程度に止まるに過ぎず銘酒飢饉はやがて訪れるであらうことを豫告してゐるのである

さらに加へて滿洲に於ける新酒に對しても四月頃から增稅となるほか原料高によつて一樽につき五圓位の値上げは必然的であると見られてゐるのである

酒屋の辯

今後の豫想について街の酒屋は次の如く語つてゐる

內、鮮、滿共造石數を制限され今年は酒飢饉に深刻な情勢を描き出すであらうことは豫想されるところです、勿論內地酒は一段と求め難いことでせう、然しこの飢饉の時機もビール季節を終つた秋ごろに現れで來ると思はれる、即ち春はストックのため酒の需要もぐつと減少するのでこの季節を終つて再び酒の需要期に入る秋頃から品不足の樣相を示し上戶黨を憂鬱にさせることとなりませう尙ビールについても昨年度既に沸底を示したが如く藥用の輸入制限、容器の問題等によつて本年は一層深刻な沸底を見ることを覺悟しなければなりません

銀行を襲撃
三人組ギャング

十日午後二時三十分ハルビン市道外頭道街七號興茂銀行に客を裝つてはいつて來た三人組ギャングが行員に拳銃をつきつけて現金二萬圓

百圓券百枚と十圓、五圓取りまぜて一萬圓

及び同義信發行の手形（額面一萬五千圓）を强奪逃走した、犯人の內一名はモーゼル一號、一人は七星式拳銃を所持し、他の一名は强盜に變はると同時に素早く外部に立つて見張りをなした、目下犯人嚴探中

化學藥品の販賣店を指定
新京管區の標準價格實施

化學藥品類の配給統制に關し曩に產業部から發せられた訓令に依り國內に於ける一元的配給統制機關の日滿商事では配給の統制要領を立案申請中であつたが、新京管區に於ける指定販賣店並に同管內販賣標準價格を左の通り一月一日より實施する事となつた

▼指定販賣店　乾卯商店、濱崎商店、山井商店、大信洋行、天野商店、大隆公司、福昌公司、福星洋行、德出光商會、泰昌公司、加藤號、南昌洋行

▼化學藥品新京標準價格（小口）マコールタール十五圓五十錢（二三〇瓩入一グラム）二圓七十五錢（一罐）

▽クレオソート油　二十五十錢（二〇〇瓩入）三圓二十錢（一九瓩）

▽ナフタリン、二十圓（一〇〇封度箱入球）十九圓五十錢（粉）

▽曹達灰、十五圓二十五錢（一〇〇瓩入）

▽苛性ソーダ三百八十圓（一瓩）

▽鹽酸、十八圓三十五錢（六〇瓩入一箱）

▽晒粉、十圓七十錢（四五瓩入一箱）

△濃硫酸、二十一圓七十錢（九〇瓩入一箱）

▽カーバイト、七圓二十五錢（第一號大塊二二・五瓩入一罐）

▽硫安、四圓十錢（三七・五瓩入一袋）

馬車夫の猫婆

十日午後六時半頃東一條通り六〇番地先路上を通行中の馬車夫新京市西三道街三義胡同七五號居住張永富（二七）は道路上に赤皮のハンドバッグの落ちてゐるのを發見拾ひ上げて八島通り派出所に届出たが途中で惡心を起しハンドバック在中の現金二十二圓五十錢俗を默つて失敬、何喰はぬ顏で空ハンドバックを差し出したが、天網恢々疎にして洩さず遺失者の芙蓉町居住高原愛子（一九）さんが午後七時頃內容はこれ〳〵のものと届出であつたゝめ一さては猫ばゝと早速張を呼び出し油をしぼると「實はそのつひ出來心で」と自白留置場の御厄介となつた

大相撲取組二日目

【東京國通】大相撲二日目取組

（山陽山）藤川（富田嶺）
（藥師山）双見山（立田野）
（照錦）陸奧錦（國光）
（八幡錦）錦華山（三船浪）
（備州山）加古川（增位山）
（雷門）若浪（白鷲）
（讃岐ノ里）佐渡島（二瀨川）
（武ノ里）番神山（布引）
（十三錦）清美川
（錦谷）陸奥里

中入後

（神東山）藤ノ里（櫻錦）
（桂川）幡瀨川（小島川）
（倭岩）大和錦（四海波）
（小松山）九ケ錦（剣ノ里）
（駒ノ里）一渡（出羽花）
（源氏山）鶴ケ嶺（松浦潟）
（出羽湊）鹿島洋（兩國）
（大潮）大浪（盤石）
（肥州山）笠置山（松ノ里）
（照國）金湊（楯甲）
（五ツ島）相模川（綾昇）
（富士嶽）玉ノ海（佐賀花）
（龍王山）安藝海（綾若）
（名寄岩）巴潟（羽黑山）
（前田山）大邱山（男女川）
（旭川）双葉山（青葉山）

惡用の虞れ……
爆竹に使用制限
舊正滿人街へ首警から警告

滿洲人古來の慣習として舊年末又は年始に爆竹を使用して新春を壽ぐがこの消費を自由に放任して置く時には匪徒の發砲と誤認せられ火災豫防上又は時局柄經濟的にも取締りを要するので首都警察廳保安科では公安保持の爲め使用時間並場所を左の如く制限して一般市民に周知徹底せしめ之が取締に萬遺憾なきを期する事となつた

▽左記日時以外に於ては爆竹を使用せしめざること

1、一月三十一日（舊十二月二十三日）自午後七時至午後九時2、二月七日（舊十二月三十日）自午後七時至午前一時3、自二月八日（舊一月一日）至二月十日（舊一月三日）自午前六時至午後五時4、午後三時至午後五時二月二十一日（舊一月十四日）自午後七時至午後十時5、二月二十二日（舊一月十五日）自午後五時至午後十二時6二月二十三日（舊一月十六日）

▽自午後五時至午後十二時左の箇所又は地域に於ては爆竹を使用せしめざること

1、多衆集合の場所2、可燃性物堆積の場所3、人家稠密の場所4、宮內府附近5、官公署學校病院附近6、其の他危險の虞ある場所

三、强風の際は爆竹を使用せざること

ぶらじる丸の處女航海

【神戶國通】來る十七日神戶出帆晴れの處女航海につく大阪商船世界一周船ぶらじる丸で約二百五十名のブラジル開拓民が出發する

「背信」有料試寫

ダニエル・ダリユウ主演佛ウデイフ映畫「背信」は、十三日から帝都キネマに封切されるが、これに先立ち十一日午後十時廿分閉館直後より有料試寫會を行ふ、百三名限り、鑑賞券六十錢

●新任三氏挨拶來社

新任宮內府總務處長小原二三夫氏、同郵政總局郵政處長宮本武夫氏、同郵政總局儲金保險處長陳叔達氏は十一日挨拶に來社

訂正

十一日附朝刊「國都繁華の大關」記事中總人口六千八百八十四名とあるは六萬八百八十四名の誤植に付訂正す

今晩の放送

▲七・三〇（東京）國民の時間▲七・四〇（東京）「ラヂオドラマ」山岸しづえ▲八・三〇（新京）講演「滿洲建國と開拓事業」滿拓總裁坪上貞二▲九・〇〇（奉天）義太夫「新版歌祭文野崎村の段」竹本蔦子

万年鏡

須美ちゃんは健康な賣れつ子でした、登美ちやんはいゝ子でしたが身體が弱くちよい〳〵休むのでした、でも兩人は仲の良いダンサーでした▼お正月が來ました、働く女性にとつて淡い哀愁を帶びながらもやはりお正月が來ると何かしら樂しいものを感じるのでした、登美ちゃんは暑い夏と年末との二度もの入院をした古い年を清算して今年こそは丈夫にならうと思ひました、でも大事を取つて混雜する正月のホールへは出ませんでした▼須美ちやんに可愛い妹がゐました、女學校の多休みを利用して家の爲に働いてくれる姉の所へお餅やお正月のお土産を持つて遠くから國都へと來ました、久振りに見る姉妹は積る話をいろいろするのでした、でも多忙なお正月の職場は姉妹の樂しい語らひの時間を奪ふのです▼だから休んでゐる登美ちゃんが姉さんに代つてあつちこつちと新京を案内したり、相手になつて話してやるのでした、ある日姉の働いてゐる夜の職場を見せたのです、むせぶ樣な圓舞曲の音樂、次々と變る照明の陰影、そして踊る男女の群▼女學校の窓からしか世の中を見てゐない少女の心には別世界のものです、「外國へ行つてゐる樣だわ何か夢みたいロマンチックな感じがするわ」憧れる樣な眼をしながらかう言ふのです、それに登美ちやんはこんな風に敎へました「夢は夢でも幻滅の夢よ、憧れちやいけないの、この華かなものの裏にある姉さんの血と汗を知らなけりやいけないの」▼之は雜然としたホールに生まれた淸純な姉と妹、そして友情の溢れた一つの涙ぐましい實話です

どうなる

本年度の映畫演劇界展望

滿映理事　根岸寬一

今日の事さへハッキリは言へぬ世の中ながら康德七年に發展するであらうと希望される滿洲國の映畫界と演劇界に付いて大雜把な展望を試みることゝする。

映畫、演劇夫々の分野での進展と、その兩者交錯に依る新事象としての展開とが先づ考へられる、映畫界に於ては滿映待望の新スタヂオが南新京の曠野に建築成りその東洋一を誇る大規模なステーヂを活用して愈よ本格的に乘り出すことが第一に注目されるわけであるが、建物は出來てもその設備の完備迄には今年上半期一杯は掛るものと見ねばならない。

ステーヂ自體の運用の上にも、實際使ふ人間達の充分な滿足を得る狀態に持つて行かねばならず、一概に老大なステーヂの外容のみに期待を掛けるに早すぎてはいけない、機械設備も、それがスムースな運轉をする迄には一寸時間が掛らう第一据付けが三、四月でなければ完了しないものもあるのだから……併し寬城子の舊北鐵機關庫を改造したステーヂを作り上げて來た今日迄の映畫に比し數段の見榮えのするものが出來ることは、これは勿論のことである。

□

映畫の內容に於ては結局企畫の問題で、此の點への期待は是非掛けねばならぬ從來の滿洲作品が、企畫の向上と技術的機械的な改良とに依つて總體的にレベルを上げる事は當然として、今年度滿洲にて上映さるべき中華映畫は舊臘活潑な動きを示すに至つた中華電影公司の手に依つて上海より合理的に輸入され、且つ從來に見ない優秀性を持つであらうと言ふことに希望が持てやう。

□

日本映畫の點に於ては他山の石として我が玉を磨くことゝし、滿映の日本映畫會社共同作品も相當に現はれやうし、日滿支の映畫會社が提携乃至は協力して作られる東亞大陸映畫が出現する事は今後の樂しみとして、今こゝに披露することは控へやう。

□

劇映畫以外の部門に於ては今年の文化映畫界に大きな囑望が掛けられる、日本では文化映畫の强制上映が實施されて、その製作會社が續々と出現してゐるが、滿洲國に於ても文化映畫の需要は飛躍的に增加してゐる、之に應じて一般文化映畫、教材映畫、記錄映畫、宣傳映畫が今年滿洲國にて製作される量と質とが共に進展する事も疑ふ餘地はないと言へる。

國軍紹介の記錄映畫完成

滿映「我們的軍隊」

總服役制實施を前に國防第一線鎮護の大任双肩にはりきる國軍の日常における訓練生活を詳細にカメラで記錄しその眞面目を中外に紹介しようと滿映文化映畫科ではかねて文化映畫「我們的軍隊」（大谷俊夫監督）を撮影中であつたが、このほどクランクを完了した「我們的軍隊」（三卷）は陸海空の國軍精銳部隊を紹介する最初の記錄映畫で國軍勇士の日常訓練生活はもとより、空軍、自動車隊及び松花江上の江上艦隊等の特殊部隊をも洩れなくカメラにをさめ滿洲國の誇り國軍の全貌を傳へんとするものである

□□三味線武士□□ 日活京都映畫、サンデー毎日に連載された川口松太郎原作小說の映畫化、衣笠十四三の監督により嵐寬壽郎が主演、近松里子、橘公子の助演、澤村國太郎の特別出演がある、武士を捨て藝道一筋長唄の道に走つた小森庄五郎が親友危しと聞いて颯爽剣を揮つて起つ、劇中劇に長唄「相生獅子」「狂ひ曾我」箏曲「怒濤の曲」が演奏される、新京キネマ十三日封切

雜音

長春座の第三週、依然としてよく入る、大船の「新妻問答」京都の「闇太郎懺悔」二本を並べて先週同樣均衡のとれたプロ、大衆番組として實力に相應した成績であるといへる▼「新妻問答」は野田高梧脚、野村浩將監の明朗物、我儘娘が本當に好きな人を好きだといへないでやきもきするといふ、よくある手のお笑ひ、大船調の本道をゆく作品として平凡なものながら一應樂しませるやうに出來てゐる、些か調子を落し過ぎてゐる箇處の見受けられるのが難▼「闇太郎懺悔」は「雪之丞變化」の後日譚であるが內容形式その他全ての點で「雪之丞」の豐かな綾には到底及ぶべくもない、伊藤大輔の脚本も流石に老練な構成を見せてはゐるが往年の斬新味はなく、大曾根辰夫の監督ぶりも特に言ふ程の手腕は見せず、好太郎の二役は苦心の跡は窺へるが雪之丞より闇太郎の方がよい、が、これも些かマンネリズムの感を免れぬ

近藤勇

橋爪彥七
西正世志 畫

（百十）

蛤御門の戰（四）

騷然とした京洛——

大風呂敷を脊にして、老人の手を引いて、髮を振亂して、走る人々、車に、荷物と子供とを乘せて、急く人々、男は、女を叱りつけて、女は、甲高い聲で、何か喚き散らしながら、背の兒を叱りつけたり、背の兒が物におびえて泣き出したり、それ等が、埃を捲きあげて、汗まみれになつて町中に溢れんばかりになつて、洛外へ洛外へと走つてゐた。

『早くゥ——』

と、前へ行く人々に、押しながら叫んだり、

『早う逃げんと——』

と、まだ家のなかでごたごたとしてゐる人たちに叫んだり、

『戰や、戰どすえ！』

夢中で、實際は、戰が何處であるのか、何藩と何藩とが戰ふのか知らずに、人々は、たゞ戰があると聞いただけで、逃げまどつてゐるのだつた。

棚村主馬は、それ等の群衆を掻き分けるやうにして街の中心へ中心へあるいてゐた。

（兄——）

さう思つて、習慣のやうになつた瞳を、八方に働かせてゐるが、果して、この騷動の中に、疾風の九兵衛が、見つかるかどうか？

考へながら、走つてくる男にぶつかつたり、女と擦れちがつて、

『痛い！』

と、叫ばれて、女に、刀の柄がぶつかつたのを知つたり、そしていつの間にか加茂川添ひを歩いてゐた。

恰度その頃——。

長州藩の家老福原越後は兵と伏見街道を進んで、河原町の藩邸に潜んでゐる兵と合して會津藩邸の正面に向はうとしてゐたし益田右衛門介は、すぐこれに續かうとしてゐたし、更に、國司信濃は兒玉民部、來島又兵衛などと兵を三分して三方から中立賣、蛤、下立賣の三門から迫らうとしてゐたし、日野大納言資宗が銑隊の部將となつて、勸修寺中辨經理の邸内に潜んで——これは會津藩主松平容保の唐門から急參內するのを狙撃する手筈だし、刻一刻と長州勢の進擊は、衝天の意氣を示して來た。

俄然！

中川宮の急使は、八方に飛んだ。

二條關白。

一橋慶喜。

德大寺右大臣。

近衛內大臣。

松平容保。

これ等の人々は、相續いて、參內をする。

玉座は、すでにかためられた。

ところが、夜になつて、突然に有栖川宮御父子が、急參內と傳へられた。

『參內！』

御門の前で先驅の諸太夫が叫ぶと、諸所からばらばらと人が出て

『誰人？』

『見えませぬか！』

と、有栖川家の御印のついた提灯を突つけられて、

『はッ』

と、頭を下げるうちに、輿が、ゆら〳〵と舁ぎこまれて行つた。

『今頃——？』

後を見送つてゐると、續いて大炊御門大納言の輿が、その外長州びいきの公卿達の輿か、續々と續いてきた。

『大騷動ぢや』

『どうなりゆくかなう』

『町は、長州勢で、いつぱいだといふではないか』

『いつ火蓋がきられるか分らんといふのに、御所がまた騷がしうては？』

北面の武士たちが、騷いたり、詰所に入つたり、

『暑いの』

と、出來て來りしてゐるうちに夜が更けて行つた。

商況

海外經濟電報（十二日前場）

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇〇
倫敦銀塊	二二片〇〇〇
同先物	二一片一六分五
紐育金塊	三五弗〇〇〇
同銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	三弗九五仙八分一
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	八弗一〇仙
英米爲替	
英日爲替	一志二片三二分九
英支爲替	五片九分五
英佛爲替	一七六法五〇
英獨爲替	四〇馬克二〇

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六四弗二分一
アナゴンダ	二九弗八分五

▲紐育棉花

限月	相場
現物	一一仙四五
一月限	一一仙二一
三月限	一一仙一二
五月限	一一仙一三
七月限	一〇仙八三
十月限	一〇仙四三
十二月限	

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二二〇留比二分一
オームラ	二八一留比〇〇
ベンゴール	三元留比二分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一四九五	一四九九
大新	—	七六四
鐘紡	一八三六	一八三五
同新	一三三二	一三三三
帝新	一三三三	一三三四
同新	九九七	九九四
洋新	七八六	七八八
日產	九一六	九一六
日鑛	一〇六八	一〇六六
郵船	八七九	八七六
日新	—	八六九
同石	九六九	九七〇
日立	七〇〇	八三三
滿工	—	—
日業	六六二	六六一
東電	—	—
電電	七六一	七六四
日鐵	—	九〇七
糖新	[illegible]	[illegible]
日曹	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	七八一	七八一
新東	一四九七	一四九五
鐘紡	一八三九	一八三九
同新	一三四五	一三四七
滿業	八三三	八三三
日蕃	七九三	七八九
帝新	一三四一	一三四一
商船	一〇三三	一〇三〇

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	三三四	三三四
大新	七八一	七八一
新東	一四九一	一四九二

各地商品市況

銘柄	寄付	大引
滿業	八三〇	八三一
鐘紡	一八三〇	一八三五
同新	一三三〇	一三三八
滿鐵	七六一	—
上木	三三七	—
新豆	—	—

▲大阪綿布

限月	寄付	大引
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

▲東京人絹

限月	寄付	大引
當限	—	—

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
一月限	[illegible]	—
二月限	[illegible]	—
三月限	—	—
四月限	—	—
五月限	—	—
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

▲横濱生糸

限月	寄付	大引
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
現物	[illegible]	—

九星

舊十一月二十四日　金曜　甲寅　先負　除　牛宿

東京・本郷・神誠館

● 一白の人　勞苦に採み拔かるゝ日何事にも隱忍が大切　甲と坤と辛が吉

● 二黑の人　入りて吉く出でゝも亦吉き幸福なる日なり　坤と巽と丁が吉

● 三碧の人　謙遜ならざれば信用を失ひて秩序亂るべし　乾と丁と癸が吉

● 四綠の人　福德來集の幸運日にして何事も進んで吉し　乾と艮と丁が吉

● 五黃の人　奮勵するときは自己の手腕を發揮するを得　丁と癸と東が吉

● 六白の人　込み入りたる事を生じ思ふ樣に行かざる日　西と巽と東が吉

● 七赤の人　辛抱足らざる時は積日の效を捨つるに至る　巽と乾と癸が吉

● 八白の人　運氣頂上に達する吉日にて何事も進むべし　東と西と坤が吉

● 九紫の人　努力次第にて如何なる難關も突破し得る　甲と丙と丁が吉

大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可
康德七年（昭和十五年）一月十二日
新京日日新聞
（金曜日）
第六千[illegible]十號
（一）

新京日日新聞

朝刊
（本紙朝夕刊十二頁）
發行所 新京日日新聞社
發行人 河 榮忠
編輯人 和波 黨
印刷人 水越 内之介

三寒四温

阿部内閣の前途もどうやら見透しがついたやうだ▼この議會をのりきるかどうかといふやうなことはもはや問題ではない▼汪精衛政權の成立迄にかく目鼻がついたとなれば、あとは然るべき後繼内閣さへ準備が出來れば一日も早くやめて貰ひ度いといふのが國民の聲だといふ▼消息に通じた者の言だとして傳へられるところによれば、重臣ブロックも、軍部も、阿部内閣には見切りをつけたとかあいそをつかしたとかいふことだ▼さうして一般國民も都部を通じて、阿部内閣の弱體ぶりにはあきれてゐるといふ▼しかし、今日の時局は、内閣が弱體だとか、無力だとかいつて居るべきときであらうか▼二千六百年來今日ほど重大な時期は歷史上にもないといつてよいだらう▼さうしてこの國家的、國民的重大時局を、國民一般は十分に認識し、覺悟七、身をもつて大試煉にたへつゝあるのだ▼國民一般の心構へが固く、高く發揚されてゐること今日の如きは、有史以來はじめてのことゝいつてよい▼しかるに、この忠勇なる國民大衆を率ゐ、指導すべき上層部の人達の無氣力、無誠意なること、今日の如きは、また空前ではないだらうか▼財界人や、經濟人の無自覺な、前時代的意識のことはしばらく措く▼いはゆる政治家とか、上層部とかいはれる人々の意識や、心構へは一たいこんなことでよいのか▼歸還兵士の感想の中に、阿部内閣成立を報じた新聞紙を手にし、大きな鯛やこもかぶりの酒樽などが山のやうに積まれ、阿部氏をとりまいた人々が双手をあげて萬歲をしてゐる寫眞、心なしか新首相もほゝゑんでゐるやうな寫眞を見て「ぐつと何かこみ上げてきた。私は……それをつかむと、バリ〳〵と引裂いた」と書いてゐる心持には、たとひ「彈の下をくぐつて」きたことのない一般銃後の國民にも、多くの同感者があるだらう▼平沼氏が首相になつたときも、その近親、とりまきまたは鄉里の人達は、鯛やこもかぶりを贈つたばかりでなく、ちやうちん行列までしたとかいふことで、それを一流新聞までがジャン〳〵寫眞入りで報じてゐたのを、にが〳〵しく思つたことであつたが、時局更に困難を加へ、とにかく事變處理中心といふ、特別使命をもつて出現した阿部内閣が、その任務も、使命も知らぬはずはなからうに、相もかはらぬ功名心、立身出世主義で、萬歲さはぎをやつて登場したのだ▼さうして組閣以來いつたいどんなことをしたか▼國民全體がほんとに一致して助けようとしてゐるのに、いつも〳〵見當はづれの猿芝居みたいなことばかり始めて、それもきまつて中途で腰くだけでヘナ〳〵とへたり込んでばかり居るのだ▼そこで今や最も大切な、上下一體となるべきときに、弱體だ、無力だ、といふことになつて「世話人會」の「善處」要望となり、或る筋の强硬意見といふやうなことになつたのだ▼今日國民中一番ふしだらで、無氣力で、時局認識がなくて、前時代的意識をもつてゐるのは、上層部だといふことは爭へないことだ▼しかし一個半個の阿部とか某とかの無爲無策などを責めたてゝゐるべきときではない▼阿部内閣の弱體は、もちろん阿部氏やその閣僚の政治的手腕力倆の不足もその一因だらう▼しかし其の弱體の原因は、國民全體の組織的な背景をもたぬところにあるのだ▼だから阿部に代ふるに畑をもつてしようと、近衞の再出馬を見ようと、その他一ダース餘りの首相候補の何人をもつて來ようと、ほんたうの政治力は生れる筈がないのだ▼眞に一君萬民の國體にもとづいた、新政治組織を創建するのでなければ、新秩序の永久的基礎は出來ないことを銘記せねばならぬ。

"政局一新"具體化に 轉換工作を打診
軍、政、財とも微妙の動き

【東京國通】阿部首相の政局一新に關する決意により重臣、軍部をはじめ政界各方面においては首相の決意表明後に處する方途についてそれぞれ愼重なる考慮を廻らし爾後の策を考究中で首相自身も十一日午前河原田文相と會談協議の後參議會散會後荒木、松井兩大將と約卅分間に亘つて隔意なき意見の交換を行ひ態度表明に資し、重臣方面でも問題がかく表面化した以上一日も速かに政局收拾の方途を講ずる必要を痛感し事變處理の完遂並にこれと不可分關係にある國内問題の處理殊に國民生活の安定に萬全の策を施し得る體制を强化する點に深く留意し、この線に沿つて政局一新を具體化せんとして軍部並に政黨財界各方面の情勢打診に努めつゝあり、重臣方面を繞る動きは極めて注目される

有志代議士會解散
善處要望理由書は握り潰し

【東京國通】衆議院有志代議士會では十一日午後二時より衆議院議長官舍に第五回世話人會を開き手代木、小山、小泉（純）（民政）、西方、木村、窪井、土倉、（政友中島派）、深澤、牧野、河野（政友久原派）河野、中村、松永（社大）、小山、赤松、清瀨、由谷、田中、今井、道家（時局同盟）の諸氏出席し前回の世話人會で申合せた政府に對する善處要望理由書發表は阿部首相の政局一新決意によりこれが發表を取止めると同時に今後積極的行動を差控へることを申合せ、また首相の正式決意表明を機會に有志代議士會を解散することとして同三時散會した

原田男湯淺内府の意向を聽取
けふ西園寺公に報告

【東京國通】西園寺公秘書原田熊雄男爵は十一日午前内大臣府において湯淺内府と會見、政局一新に關する内府の意向を聽取し更に午後七時半荻窪の私邸に近衞樞相を訪問同樣意見をたゞしたが、同男爵は十二日午前興津に赴き老公に内府、樞相の意見を傳へると共に軍部の政黨、財界各方面の情勢につき詳細報告する

戰火の歐洲より ジーグフリード線を監視するタンク攻擊の獨逸砲（上）とバルチック海を驅する掃海艇

定例内閣參議會

【東京國通】十一日定例内閣參議會は午前十時十五分首相官邸において開催、政府側より阿部首相、參議側は鄉參議缺席の他は全參議出席先づ阿部首相より十三日の樞府本會議に上程される日ソ漁業條約暫定協定の締結經過及び結果を報告したのち汪精衛氏を中心とする支那新中央政權樹立に伴ふ帝國の基本方策をはじめ支那新政權樹立までの見透し等に關し詳細說明報告し首相退席後各參議居殘り時局問題その他に關し種々懇談を重ねて正午散會した

五黨首會合
十三日開催

【東京國通】懸案の在野五黨首會合を十三日午後三時より首相官邸で開催することに決し十一日町田民政、久原、中島兩政友、安達國同、安部社大五黨首に對し招請狀を發したが、當日は政府側より阿部首相、野村外相、青木藏相、畑陸相、吉田海相が出席、首相より去る八日の閣議で決定せる新支那中央政權に對する基本方策の內容につき說明諒解を求める

政界人の動靜

【東京國通】十一日午前中の政界人動靜左の如し
△久原房之助氏は首相及び輸長と懇談
△松井石根、久原房之助兩參議は定例參議會開催前懇談した
△橫山東北興業總裁は河原田文相と要談
午後の動き
△河原田文相は首相の內意を受け近衞樞相に首相の所信を傳達した
△荒木參議は參議會終了後首相と會見懇談した
なほ首相は十二日湯淺內府と會見の豫定

哈爾濱會議第二回
國境の圖上確定審議を續行

ノモンハン附近の國境を確定すべき滿蒙國境確定委員會では去る七日哈爾濱に於て第一回會議を開催したが十日第十回會議即ち哈爾濱に於ける第二回會議を開催、右に關し政府は十一日午後十一時次の如く發表した

▲最近紛爭ありたる地域の滿蒙國境確定混成委員會の共同コムミュニケ（一月十一日午後十一時發表）

混成委員會第十回會議は康德七年一月十日哈爾濱市ヤマトホテル（ソ蒙側代表部宿舍）に於て蒙古人民共和國政府代表ジャムサロン氏主宰の下に開催せられ國境の圖上確定に關する問題の審議を續行せり、次回會議は一月十三日開催せらるべし

英國の敵性を自駁す
駐支英總領事本音を吐く

【上海十一日發國通】近く引退歸國する上海英國總領事サー・ハーバート・フイリップス氏は十日夜上海在留英國居留民の送別會席上一八九八年最初に支那に赴任以來の歷史を回顧、支那の將來に繁榮を豫想して左の如く述べ多大の注目を惹いた

若しも極東に和平が回復したら支那は中立國の繁榮を享受し過去二年間にわたる損害を償ふことが出來るであらうといつても過言ではあるまい、上海が如何に潛在的な回復力をもつてゐるかは一九三二年の第一次上海事變後の例によつても知られる、事變後僅か五年間にして支那の他の都市において未だ曾つて經驗せざるブームを現出した如きは上海の生命力をよく說明するものといはねばならぬ、しかしながら一九三七年の第二次上海事變の激動は一九三二年のそれよりはるかに大きなものがあり、しかもその激動のみにとゞまらなかつた、戰爭は揚子江を遡り上海の輸出の依存する豐饒な生產地にまで及んだのである、かゝる情勢にある現在見透しをつけることは頗る困難であるがしかし希望なきにあらず現在歐洲戰爭の支那に及ぼす影響、特に英國の對支貿易に對する影響は相當甚大なものがある、若しも極東に一度和平が達成されゝば支那は異常な繁榮を享受するであらう

滿ソ 滿蒙 國境確定と紛爭處理へ推進
二月中には協定成立か

滿ソ及び滿蒙間の全面的國境確定ならびに紛爭の處理及び防止に關する委員會設置については舊臘來モスクワにおける東鄉、モロトフ會談にてその大綱方針に付き意見の一致を見たが、日滿兩國政府においてソ聯政府の回答を中心に更に檢討を加へた上、近く東鄉大使に回訓を發しモスクワ政府との間に右國境各委員會設置に關する具體的折衝を進めしめることゝなつた、同委員會は

一、日滿兩國とソ聯政府を相互の相手方とする國境紛爭防止及び處理に關する委員會設置の件
二、滿洲國及びソ聯を相互の相手方とする國境確定委員會設置の件
三、滿洲國及び外蒙共和國間の國境確定に關する委員會設置の件
四、滿洲國及び外蒙共和國間の紛爭防止並びに紛爭處理に關する委員會設置の件

の四本建による協約に基いて組織されることゝなる模樣であるが、既に東鄉、モロトフ會談においてこれ等委員會設置の大綱方針が決定してゐるので日滿ソ蒙各國政府間の具體的折衝も大體順調に進むものとみられ遲くとも二月中には協定成立の運びになるものと豫想される、なほこれ等諸協定成立の曉において國境全面の確定には相當の年月を要するとしても滿ソ及び滿蒙兩國々境の紛爭についてその防止乃至處理を目的とする常設委員會の設置を見ることは今後の紛爭發生に際しこれを平和的に處理すべき最有力な手掛りとなるものであり、日滿ソ國交調整の上に劃期的な意義を有するものと期待される

星野長官 阿部首相訪問

【東京國通】十日來京して山王ホテルに投宿した星野總務長官は、十日夜も遲くまで柏村產業部次長始め在京滿洲國各機關代表等より物動資金その他日滿間の懸案諸事項等について東京の狀況を聽取したが、十一日も公私の訪問客殺到してその應接に暇なく、午前九時過ぎ來訪した駐日滿洲國大使館野田參事官より日滿間の諸問題および政局問題等諸般の情勢を聽取した後、午前十時過ぎ首相官邸に赴いた

北票發電所 送電を開始
大電力需要に即應

阜新、西安と並んで中南滿石炭增產の樞軸をなす北票炭礦及び錦縣、揚家杖子等の南滿鑛工業開發に要する大電力需要に即應するため電業で完成を急いでゐた北票發電所一萬五千キロワットはこの程工事も大體完了するに至り本月末より愈よ送電を開始することゝなつた、從來北票炭礦の所要電力は滿炭の自家發電千五百キロワットの外に阜新發電所より三千キロワット餘の供給を受けてゐたが、新發電所の完成によつて餘剩を生ずる約一萬キロワットを北票＝義縣＝錦縣の送電線に依り南滿鑛工業地帶に供給することが可能となり目下フルの運轉を行つてゐる阜新發電所にも可成りの餘裕を生ずるわけで電力飢饉が憂慮されてゐる折柄期待されてゐる

統制强化に 經濟取締を生かす
第一回連絡會議を開く

戰時態勢下時局の要請に伴ひ經濟統制の高度化は必然的に一般民衆の日常生活に甚大なる影響を與へるとゝもに關係諸法令の續出は法令解釋上或は運用上兎角の支障摩擦を誘發する一面、政策の間隙を惡用する經濟事犯を惹起する等統制政策遂行に際し生起すべき諸事態に對處して政府は舊臘經濟、產業兩部を中心とし總務廳企畫處、法制處、弘報處、地方處、監察部、治安部警務司、司法部刑事司、最高檢察廳、協和會等の各關係機關を網羅する經濟取締連絡會議の設置を決定したが、その第一回連絡會議を十一日午後二時より國務院第一會議室に於て開催經濟統制關係官二十餘名出席

一、經濟警察の活動狀況連絡
二、經濟情報の連絡
三、經濟事犯の具體的取締方策に關する連絡
四、關係法令解釋上の統一に關する事項の連絡
五、經濟統制實施運用方策に關する連絡

等を附議協議したが、今後は每月二回定例的に開催、經濟統制殊に之が取締りの圓滑適正なる運用を期す事となつた、出席者左の通り

企畫處＝神田處長、橫山、遠藤、溝部各參事官
法制處＝手島參事官
地方處＝大島參事官
監察部＝山菅、荒川兩參事官
治安部警務司＝張保安、鶴特務、森田刑事各科長
司法部刑事司＝國分司長
經濟部＝內田文書科長、木村、夏目、竹末各參事官
產業部＝楠見文書科長、佐技工政科長、辻鑛務科長
協和會中央本部＝熱田實踐科長

敵機十四を擊墜
わが荒鷲桂林を猛爆擊

【上海十一日發國通】艦隊報道部十一日午前十一時半發表＝海軍航空部隊は昨年末柳州上空において敵機廿有餘を擊墜し敵空軍に一大打擊を與へ更に敵敗殘航空兵力の殲滅を期し十日午後わが精銳部隊の大編隊をもつて突如桂林を急擊し、同地上空及び飛行場内に於て敵機廿三機を擊滅しわが方何等の被害なく全機無事歸還せり即ち樋端中佐および五十嵐大尉の指揮する有力部隊は同日午後二時頃桂林上空において挑戰し來れる敵イ一十四、十五及び十六型戰鬪機約四十機と激烈なる空中戰を交へ内十四機を擊墜したる後更に敵の熾烈なる防禦砲火を衝き桂林飛行場内に折柄交戰直後着陸中の敵戰鬪機群に對し巨彈を浴せその九機を確實に炎上せしめたる外場内中部五ヶ所に大火災を生ぜしめ甚大なる戰果を收めたり

南支方面戰況

【上海十一日發國通】十一日午後四時發表＝艦隊報道部發表＝南支方面戰況左の如し

一、海軍航空隊は一昨九日廣西省中部における敵兵站基地賓陽周邊を爆擊し同地敵據點および兵營等に對し多大の損害を與へたり、なほ同日他の航空隊は前後二回に亘り賓陽南方九塘附近の敵集團および陣地を反復攻擊しこれに甚大なる損害を與へたり
二、去る七日海南島陸戰隊の一部は海軍機協力のもとに儋縣北方において陣地構築中の三百よりなる敵部隊を急襲これに大打擊を與へ敗走せしめたり、わが方戰死二、重傷四、敵遺棄死體八十八
三、一昨九日海南島内陸一帶の偵察並に攻擊に從事せる海軍航空隊は陵水北東の加摘において敵據點を發見これを爆碎せり

ブロナウ武官 各機關歷訪

さきに兼任駐滿公使館附武官となつた現駐日獨逸大使館武官フォン・ブロナウ大佐は就任挨拶のため十二日午前十一時四十二分着列車で來京、十四日まで滯京して關係機關を歷訪、十五日午前八時十分發列車で哈爾濱に向ふ

米、諾威に 一千萬弗融資

【ワシントン十日發國通】ジョーンズ復興金融會社總裁は十日ノルウェーに對し農產物及び軍需品購入のため總額一千萬ドルのクレヂットを供與することに決定した旨發表したが曩の對芬蘭クレヂット供與とともにソ聯フインランド戰爭を繞る米國の反ソ態度がいよいよ露骨となつてきたものとして注目される

初代駐日濠洲公使に レーサム氏任命か

【シドニー十一日發國通】濠洲政府は近く駐日公使を任命するであらうと傳へられてゐるが十一日の當地新聞は初代駐日公使の有力候補者として大審院首席判事ジョン・ジー・レーサム氏の名を擧げ、復活祭前（三月廿四日）に同氏の任命を見るであらうと報じてゐる

外務人事

【東京國通】外務辭令十一日左の如く發表

大使館一等書記官 田尻愛義
任外務書記官東亞局第一課長を命ず
大使館二等書記官兼事 門脇季光
任外務書記官東亞局第二課長を命ず
外務書記官 杉原荒太
任大使館一等書記官中華民國在勤を命ず
興亞院書記官陸軍主計少尉 山田久就
兼任大使館二等書記官中華民國在勤を命ず

澁谷新聞班長挨拶 國務院弘報處新聞班長に就任した澁谷春夫氏は十一日新任挨拶に來社

三浦滿赤理事長來社 新任滿洲國赤十字社理事長三浦敏事中將は十一日挨拶に來社

人事往來

▲安田重二氏（井口洋行）十一日來京國都ホテル
▲近藤俊男氏（鞍山鋼材組合）同
▲伊藤榮一氏（島本株式會社）同
▲齋藤平七氏（同）同
▲文室重俊氏（機械輸入商）同
▲三宅恒太郎氏（東邊實業銀行）同
▲杉本正氏（會社員）同國際ホテル
▲坂本大吉氏（同）同
▲紺野武氏（滿洲國官吏）同
▲山縣寬氏（同）同
▲大島義和氏（同）同
▲長谷川弘氏（滿洲葉煙草社長）同滿蒙ホテル
▲高橋協氏（滿洲モーターース專務）同

社說 動く政局に想ふ

東京に於ける政治部面の動きは最近極めて注目すべきものがあるやうである。すでに報道はこの稿の出る十二日には何らかの轉換が行はれるであらうとの豫測を傳へてゐる。その內面の動きはともあれ、われ〳〵としては現在のやうな時期に於いて、斯うした政變といふやうなことが行はれるのが果して望ましいかどうか、今後にもさうしたことの起る可能性があるとすればそれを絶滅せしめる方法はないものか、さうした根本的な問題について考へて見ることが必要なのではあるまいか。

われ〳〵はいま事變遂行のために、全力をあげてそれぞれの職場に於いて闘つてゐるのである。それにはもとより强力な政治上層の體制が出來てゐることを望まねばならぬ。それなくしてどうして强力な事變對處が出來よう。今日政局の轉換が云々され、國民の注目をそこに集めてゐるといふのは、他の條件を拔きにすれば、原理原則上から言つて望ましくないことであるのは明瞭である。それは今支那に成らうとしてゐる新中央政權の運動に對しても決して良い影響は與へぬであらう。國內的に見ても、諸般の部門に亘る統制の遂行といふことだけでも、政治上層部にさうした變動が起るといふことは何としても好もしくないであらう。原則的に不可、それはもう動かせぬと考へられるのである。

しかし現實の問題となればまた事情は異つて來る。さうした轉換を云々されるといふのも、內閣が弱體であるからこそ起つてゐることでもある。また轉換によつてより良い狀態がもたらされるのであるならば、些少の損耗はなほ可なりとせねばならぬであらう。大を生かすために小を殺さねばならぬこともある。犧牲や摩擦を覺悟してかからねばならぬこともある。ただ無用な紛糾、意義無き小抗爭をわれらは排擊するのである。

今後に於てこのやうな憂慮を無くし得る方法はないであらうか。これを極めて端的に答ふれば、要は眞に國民の政治的組織體が出來ることだと言ひ得るであらう。議會はあつてもその本來の負託されたところを逸脫し、政黨の名を稱するものはあるけれどもそれは國民からは遊離した存在となりはてゝゐるといふやうな狀態では救はれぬのである。われわれは斯うした根幹的な問題を見つゝ、われわれは斯うした根幹的な問題に思ひをいたさざるを得ないのである。

石城子の敗敵急追 崇陽周邊を掃蕩
わが駿足部隊の猛攻

【漢口十日發國通】崇陽西方山地內に於て敵中央傍系第八十二、第八十八兩師を粉碎せるわが坪島、白濱、山中各部隊は九日夜半崇陽西南方の敵據點石城子を占領のうち引續き敗敵を西方に急追、十日早曉わが第一線部隊は早くも石城子西方六キロの線に躍進した、また坪島以下の各部隊に呼應して崇陽南方三キロ張家山附近に於て第十九、第百卅三、第百卅四の三師を粉碎せる佐野、寺平、鎌浦各部隊は十日朝來愈よその駿足をのばし敵を西南方に急追しつゝあり、去る四日より七日に到る間前記各部隊の得たる綜合戰果は敵遺棄死體一千百(うち將校四)の多數にのぼつてゐる

魯東地區の敗走匪を殲滅

【青島十日發國通】青島海軍武官府發表＝魯東地區における空陸呼應連日にわたる掃匪猛攻作戰は今や大なる戰果を擧げ、大集團の匪部はほとんど潰滅せりといへどもなほ敗殘匪は各地に集結、蠢動を續けつゝありこれが徹底的掃蕩のためわが青島海軍航空部隊は陸軍の作戰に協力して隨所に大活動を續けつゝあるが、去る八日午前抗縣、良鄕、辛莊、北鄕の各部落を據點とする敗走匪集結中なるを知り直ちに艦載攻擊機は某方面に出動せるうち果然敵匪を發見、猛烈なる反復爆擊と機銃掃射を敢行し殲滅的打擊を與へ、全機無事歸還せり

敵屍三萬百五十
武漢周邊の輝く戰果

【漢口十日發國通】敵の冬季攻勢を一擧に粉碎せる武漢周邊地區十二月中の綜合戰果は左の如く赫々たるものである

敵情＝敵の裝備、兵の素質の劣惡顯著となり捕虜にして所屬大隊長の氏名を知らざるもの八十パーセントの多數に上る有樣で捕虜及び遺棄死體の所持彈藥は從來の二分の一の平均卅發に過ぎない

交戰回數＝江北四百五十四、江南三百八十六、計八百四十回

敵遺棄死體＝江北一萬二千百卅、江南一萬八千廿、計三萬百五十

捕虜＝江北百十四、江南百七、計五百廿一

鹵獲品

品目	數
迫擊砲	二〇
輕機	三二九
重機	五六
小銃	四、一二〇
砲彈	二、五九六
手榴彈	一〇、二二三
小銃彈	六三四、二〇〇

國共兩軍の深刻な闘爭
新政權樹立を前に激化

【石門市十日發國通】舊臘中から新年にかけて石門(石家莊)を中心とする冀南各地のわが部隊は時々正體の知れぬ銃聲を聞き、行つて見ると多數支那兵の死體が遺棄されてをり烈しい戰闘が行はれた形跡があるこれは敵軍が末期的現象として同志討をやつてゐるもので地盤爭ひを原因とするものは從來とも各地に行はれて來たものであるが最近は更に新政權成立を前にして共產系八路軍は國民黨系軍隊に對し國民黨軍は共產軍に對し互に新政權成立の璵に寢返りを懷疑し從來の單純なる地盤爭ひから一歩を進めて深刻なる闘爭に移行してをり、本年に入つてからも南宮(石門東南百キロ)東南方地區における呂正操軍と八路軍との戰闘、井陘北方地區における衝突事件順德西方山地における戰闘を初めとして數件を數へ何れも相當烈しい戰闘で我軍に發見された遺棄死體だけでも夥しい數に上つてゐる

地方職員訓練教官懇談會

地方處では地方職員の訓練に重點を置き、本年度における地方職員の質的向上を圖るため來る十三日午前十時より國務院講堂に於て全國地方職員訓練所教官懇談會を開催することゝなつた右懇談會においては各省の特殊及び一般共通事情並に地方職員の訓育方法等を協議懇談、中堅官吏の養成に萬全を期するもので中央側よりは桂地方處長、皆川監理科長、北原財務科長、特に井上大同學院長等、地方側よりは訓練所教官約四十名が出席する

希臘汽船日本近海で遭難

【橫濱國通】ギリシヤG・Eマルデベン汽船會社所有船ヴイクトリア號(四二〇二噸)は米國タンパ港より大阪へ向ふ途中時化のため十日午前十一時卅分東經百四十三度廿六分、北緯卅五度四分(橫濱より約百八十浬)の洋上で遭難救助を求めつゝあるので附近航行中の國際汽船小牧丸(八五二四噸)山下汽船豫州丸(五七一一噸)の兩船が現場に急行一方函館よりも日本サルヴエージの那須丸が救助のため急行した、目下のところヴイクトリア號の船體人命には異狀なき模樣

グワム島武裝に海軍委員會反對
發表に對して騷然

【ワシントン九日發國通】スターク海軍作戰部長は八日の米下院海軍委員會において突如グワム島防備計畫を發表したが、引續き九日の海軍委員會においても同計畫の內容につき

海軍はグワム島防備に關し既に四百萬ドルの豫算を議會に提出した、この豫算は第十四海軍區ハワイ水域の豫算に含まれてゐるが、海軍當局はこれによりグワム島に浚渫工事を行ひ、ならびに防波堤を構築せんとするものである

と發表したが、海軍委員の大部分は一齊にこれに反對を表明

かゝる計畫はグワム島武裝に關するすべての計畫を否決した昨年の下院海軍委員會の決議を無視したものである

として議場は一時騷然となつた、右に關しヴインソン海軍委員長は新聞記者團に對して

グワム島防備强化に關する經費を海軍豫算に挿入せんとする海軍當局の計畫は結局否決されることとならう、同計畫は右經費の含まれてゐる第十四海軍區豫算計議の際審議されやうが否決されることは既定である

と語つた

米海軍の巨艦建造計畫內容

【ワシントン九日發國通】スターク海軍作戰部長は九日の下院海軍委員會において五萬噸乃至五萬二千噸の巨艦建造計畫を發表左の如く說明した

今日までの硏究の結果から云へば米海軍は五萬噸乃至五萬二千噸主力艦を建造し得る、しかし現在のところではそれ以上の巨艦建造の意圖はない、六萬二千噸級の主力艦建造は設計上興味あるものでありその性能も明らかに小主力艦に比較すれば優秀であるが大艦建造のために全體の艦數の減少をみることは不利である六萬二千噸級と云へどもパナマ運河に建設される新閘門を通過することは困難ではないが一度新閘門が故障を生じた場合には通過出來ない樣になることをも考慮しなければならない、本年度においては先づ四萬五千噸級主力艦四隻を建造する計畫で右のうち二隻は既に目下建造中でその裝備は曾つて見ざる優秀なもので三十三浬の快速力を有する高速主力艦である、他に海軍省は雙發長距離用超爆擊機二百臺を建造する計畫である、また主力艦十八吋の巨砲積載を目下試驗中である

增艦技術の缺陷

【ワシントン十日發國通】十日の下院豫算委員會公聽會で艦政部長ロビンソン海軍少將はデァアー共和黨議員の質問に答へ增艦技術上の缺陷に關し左の如く證言した

過去卅年間米海軍は增艦技術上において上部過重の傾向に陷るといふ過誤を冒して來たこの傾向は最近竣工した驅逐艦についても見受けられる而しながら驅逐艦の安定性に關するこの缺陷は既に是正された

北海上空で空戰
英獨機激烈な戰闘

【ロンドン十日發國通】英國空軍省發表＝英國空軍の一隊は十日午後北海上空を偵察飛行中メッサー・シュミット百十型の敵戰闘機數機と遭遇、半時間の長きに亘り猛烈な戰闘を交へこの空中戰においてわが一機は擊墜され、敵戰闘機一機は海中に墜落し、他の一機は機體に大損害を受けて辛じてデンマークに不時着した殘餘の一隊は更に敵戰闘機と激烈な戰闘を交へたのち無事基地に歸還した

英機三機擊墜

【ベルリン十日發國通】ドイツ空軍省は十日の北海上空における英獨空中戰に關し左の如く公表した

最新式のドイツ軍用機四機は十日午後一時ヘリゴランド灣上空においてブリストル型英國爆擊機九機と遭遇敵機は直ちに逃走を企てたが、ドイツ軍用機はこれを追擊して三機を擊墜し、わが機は全機無事基地に歸還した

獨機英船擊沈

【ベルリン十日發國通】ドイツ軍司令部發表＝九日午後、十日午前の兩回に亘りドイツ空軍戰闘部隊はイングランド及びスコットランド東海岸に對し偵察飛行を敢行し、その際二隻の商船とこれを護送中の哨戒艇二隻を襲擊しノーフォーク沖合においてこれを擊沈したスコットランド沖合において突如四隻の武裝商船より高射砲射擊を蒙つたがわが方は直ちにこれと交戰そのいづれも擊沈した

諾威汽船觸雷沈沒

【アムステルダム十日發國通】ノルウエー商船マンクス號は十日オークニー島東部において機雷に觸れ沈沒した乘組員七名は附近航行中の商船に救助された

英船二隻擊沈

【ロンドン十日發國通】商船オーク・グローブ號(一九八五トン)及びアブミスター號(一、〇一三トン)の兩船は九日獨空軍の襲擊を受け何れも沈沒した

波、佛國間に援助取極成立

【パリ十日發國通】ポーランド亡命政府はパリ郊外でさゝやかな存在を續けてゐるが、同政府シコルスキー首相とダラディエ佛首相の間に十日フランス國內において亡命ポーランド國軍を再編成しフランス側がこれに援助を與へる取極めが成立した

麻袋對策決定
日本側との協議成立

麻袋需給關係如何は大豆その他主要農業物出廻りに重大なる影響を齎すためこれが潤澤なる供給を期し、當局は曩に公定價格、古麻袋回收方針等を明らかにしたが、日本側よりの回收意の如くならざるため產業部湊事務官は新春早々東上、舊臘東上中の柏村產業部次長とゝもに日本側との間に古麻袋回收及び麻袋輸入方針につき協議中のところ、このほど大體左の如く協定の成立をみた模樣である

一、日本側は一月、二月を通じ古麻袋二百萬枚を滿洲に輸出する

二、麻袋輸入による差損は滿洲麻袋組合で負擔する

三、輸入爲替は一、二月合計一千萬枚分の輸入契約を行ふ如く、日本側で極力努力する

等の骨子につき諒解が出來たが、今後の問題については改めて協議の上決定することになつた

砂糖の日滿交涉
本月中に纏らん

滿洲國の本年度所要砂糖見込數量概算は二百五十萬ピクルであり、その中國內產糖は大體卅數萬ピクル(滿洲製糖三分の二、北滿製糖三分の一)であるから滿洲國として糖聯を通じて日本より供給を受ける砂糖の量は二百廿萬ピクルとし、これが需要量及びその取得方法、輸入統制機關(生活必需品會社)の輸入價格等につき滿洲國側より小山經濟部事務官が舊臘東上して關係事務當局並に糖聯との間に所要の折衝を行つた結果糖聯よりの本年度における滿關支向供給量は大體三百五十萬ピクルとし滿洲國向(關東州を含む)供給量も五年度供給實績を參酌して百六十萬ピクルと決定を見たが、輸出價格の點に於て

一、糖聯側は現在の支那市場に於ける輸入採算たる百斤(白)三十六圓六十五錢を基準として幾分廉く定めたい意向であるに對し

一、滿洲國としては輸入價格は日滿綜合物價對策の建前から日本內地販賣價格(百斤當り廿五圓)と同一又はそれ以下たるを要請

これがため交涉は昨年中には纏らずその儘今年に持越されてゐたが滿洲國としても康德七年度に於ける砂糖配給上支障を生ずる虞があるので早急これが交涉妥結を取急ぐ必要から舊臘來滯京中の山梨商務司長が折衝に當る事となつてゐるので一月中には正式決定に至るものと見られてゐる而して內地の民需砂糖消費量は昨年よりの減產並に中南支方面への外糖流入防止策としての日本糖の振向等のため內地民需は極力抑制される模樣であり、從つて滿洲國の砂糖需要も相當の消費抑制を勵行する要ありとされてゐる

新中國人の私と日本 (中)
汪兆銘

革命運動拋棄に肅親王の心遣ひ

次に北京の牢中で迎へた正月のお話をしよう、一九一〇年(明治四十三年)私は北京に於て時の攝政王暗殺を企てゝ成らず、遂に逮捕され投獄された、さうして一九一一年(明治四十四年)の正月は北京の鐵窓下で迎へたのである、當時の北京の牢獄は、囚人の待遇を改善して間もない頃のことでそれ以前に比べては話にならぬ程人道的になつてゐたそれでも私の脚は鎖で縛られ、毎日三回の食事は老米と稱して、古くなつて脂肪分などは全く失なつた黃色味をおびたひどい米を炊いたものを一碗、鹽大根一切、汁一杯だけ、五日に一回豆腐が附いて來た、これでも以前に比べては非常に良くなつてゐたのである。然し當時の私は喰ひ盛りの靑年であつたから始終空腹に惱んだものである、肉を喰はしてくれるのは一年に三回、端午の節句、中秋の日、それに元日だけであつた、殊に元日には二人當り一斤の肉を與へられるのであつた、獄中に迎へたこの年の正月は何も忘れて一斤の肉をむさぼり喰つて迎へたのである、攝政王襲擊計畫の相棒は喩培倫、號を雲紀といふ千葉醫專出身の醫者であつた、我々の仲間で多少とも化學の知識のあつたのは彼一人であつたので彼が專ら問題の爆彈製造に當つたのだが、彼も後捕へられて處刑されてしまつた私が一命を助けられたのは全く肅親王に負ふのである

肅親王は自分に革命の決心を拋棄させる爲めに凡ゆる手段を講じた、一度は實際に刑場にまで引出して自分の決心の變更を迫つたこともあつた、又獄中に在る自分の處へ入つて來て、天下を論じ詩を談じたことも屢であつた、自分が死一等を滅ぜられたことには何等の政治的意圖も含まれてゐなかつたとはいはれないかも知れないが、私はその頃のことを思ひ出す度に必ずこの淸朝末期の傑れた政治家のことを想ふのである

印象的でない西洋の正月

私は歐洲では幾度かの正月を迎へた、然しそれらには取り立てて云ふ程印象に殘る正月がない、その上私の歐洲行きはいつも故國の政情の變化であわたゞしく中斷されるのが常であつた、大體西洋では正月といふものが餘り印象的でない、何處でもクリスマスの方が印象深い、それもクリスマスや年越の夜に寺院で打ち鳴らす鐘の音が私の感興をそそり心をひくといふに他ならないのだ本當をいふと私の氣持には西洋大寺院はあまりしつくりしない―西洋人が聞いたら怒るかも知れないが―といふのは私は西洋の敎會の建物の中に入ると何となく子供の頃正月毎に參詣した故鄕の城隍廟を想ひ出してしまふのであるその廟中には地獄の造りものがあつて眞中に十殿明堂(閻魔大王)が頑張つてゐて、大小の赤鬼靑鬼や牛や馬の首のついた怪物が亡者共を針の山、火の山に追ひ立ててゐるのであつた、子供にはこれが恐くて、家に歸つてからも夢に見てうなされることなどがあつたものだ、その幼年時代の印象がまだ頭の底に殘つてゐると見えて、私は西洋に行つて大寺院や大伽藍を見る度に、幼年時代に故鄕で見た地獄の造りものを聯想して何となく感心出來ないのである

新政權への示唆

中國での特に感銘の深い正月は一九一二年(明治四十五年)の正月であつた、その前年の暮、舊曆十一月二十五日に孫文先生が上海に到着し、一九一二年の一月一日南京で臨時大總統に就任したのである又此の年から中國は在來の陰曆を廢し太陽曆を採用した此の正月に孫文先生は明の孝陵に參拜したこれに對し無政府主義者の吳稚暉、李石曾などが攻擊を加へたのである其論旨とする所は民權を主張する孫先生が舊時代の君主の墓陵など參拜するとは何事であるかといふにあつた私自身としては先生の參拜に別に反對ではなかつたが吳や李の議論には新し味があつて、中々面白いと思つた、然し間もなく私は彼等の議論に心を惹かれたことはいけないことであつたと氣が付いた、孫先生の孝陵參拜は民族的見地から、大いに意義あることであつたので、無政府主義的な考へからこれに反對した連中には、いさゝかでも共鳴したことは、私の至らざるところであつた、この時のことでも一つ忘れられないのは孫文先生就任の宣言である、これは私が起草したものであつたが、先生は私の書いたものを一字一句改めることなく、そのまゝ發表されたのである、當時若年の私にとつては全く意外な喜びであつた、この宣言文の中に「中國は今後文明國として盡すべき義務を盡し、文明國としては受くべき權利を受けねばならぬ」といふ一句がある、これは實をいふと、私が法政大學で敎へを受けた山田三良先生が國際私法の講義の時、「諸君は頻りと治外法權撤廢、領事裁判の廢止を叫ぶが、列國にこれを要求する前に先づ國際社會の一員としての義務を盡さなくてはいけない」と云はれた言葉を拜借してこれを書きかへたものであつた、當時を追想して私はこの頃、次の樣なことを考へてゐる、一九一二年即ち民國元年一月一日孫文先生が臨時大總統に就任した當時、宋敎仁等はそれに大反對であつた、その理由とするところは、今孫先生が南京で臨時大總統に就任すれば、北方に於て袁世凱を中心に計畫されてゐる宣統帝退位工作を反對に逆轉せしめるおそれがあるといふのであつた、然し實際はその反對で南京に於て孫先生が確固たる態度を示したことが北京に於ける工作の貫徹を促進し、袁世凱の決意を促す結果になつたのである、そして孫先生は宣統帝の退位を見るや二月十二日辭表を提出し、こゝに袁世凱が中華民國大總統に選出され、三月就任式を擧げたのである、現在新政府問題についても似たやうな議論を耳にする、即ち今政府を組織すれば重慶は益す窮地に追ひ込まれ遂に和平の機會を全く失ふであらうといふ人がある、然し私はさう思はない、むしろ却つて新政權が出現することは重慶の和平決意を促すことになるのではないであらうか民國元年のこの出來事を想起するとき、私はかう考へるのである

春聯の生半可な新生活運動

民國二十三年、二十四年(昭和九年、十年)私は南京で正月を迎へた、丁度國民政府の新生活運動の最高潮時代で警察は舊正月廢止に大童であつた、大衆にとつて舊正月は一年一度の行事であつて、又殊に樂しい時なのでもあるから、この取締りはたしかにやり過ぎであると云ふのが私の考へで私は警察當局や市當局に取締の緩和方を慫慂したが遂に無效であつた、それで私も折角の舊正月を南京に居ても面白くないので、一層上海にでも行かうと思つたのであるが、それも當てつけがましいので止めた、然し南京は何んとしても氣づまりなので氣晴し旁々近くの湯山溫泉に出掛けた、するとある田舍の百姓家の戶口にこんな春聯が貼つてあるのである

打倒帝國主義
實行新生活運

謂ふまでもなくこの赤い紙を貼りつけた當人は、この文句を正月の祝ひの詞だと思つて書いたので、その文句の出所は黨部から配つた新生活運動の宣傳ビラなのである、もとは「打倒帝國主義」と「實行新生活運動」といふ二つの標語なのだが、六字と七字とでは字數が揃はず並べて貼る譯に行かないので七字の方の尻尾の一字を勝手に切つてしまつたのである「義」と「運」では韻も踏んではゐない、まるで滅茶苦茶なのだが、そんなことにおかまひなく六字、六字を並べて得々たる所に何とも云へない皮肉が溢れてゐて、私は思はず噴き出してしまつたのである

國防皇軍慰恤獻金品(本社取扱)

一金六萬〇千八百〇七圓七十九錢(關東軍司令部へ)
一慰問袋千四百二十七個(同)
一金七十四圓三十五錢軍用家畜慰問金(同)
一金三百圓也(國防館基金へ)
一金五千八百十三圓六十八錢(駐滿陸海軍部へ)
累計六万七千〇〇四十五圓八十二錢(昭和十五年一月九日現在)

一月上旬貿易

【東京國通】大藏省發表＝一月上旬における本邦對外貿易概算左の如し(單位千圓)

輸出	二一、七七八
輸入	四七、八七八
入超	二六、一〇〇

商況 十一日後場
各地株式市況

●大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	—
大新	七八四〇	七七九〇
新東	一四九三〇	一四八六〇
滿業	八三三〇	—
鐘紡	一八三四〇	一八二九〇
同新	一三三三〇	一三三六〇
滿鐵	七五〇	—
豆新	—	—
土木	—	—

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	一四九三〇	一四八七〇
滿業	八三三〇	八三三〇
大新	七八三〇	—
鐘紡	一八三四〇	一八三四〇
同新	一三三一〇	一三三五〇
滿鐵	—	—

手形交換高(十一日)

九八五枚 二、八七八、四三三、二七錢

白刃を翳し敵堅陣を奪取
決死の廿一勇士！

【太原十日發國通】去る一月三日沁水縣、後神溝北側高地の戰鬪において散華した會砥部隊、丸太部隊村木直吉中尉（岩手縣稲岡町出身、日大經濟學部卒業）の壯烈なる最期こそは

武人の

龜鑑として千歳までも世人の血を沸かすものがある、零下に凍りつく大嶽山脈の峻嶮に堅陣を築いて頑強に抵抗する第廿七軍に對しわが丸太部隊の精鋭は二日夜半より壯烈なる攻撃を繰り返してゐたが地の利を占めた敵兵は高所より機銃、小銃の十字砲火を浴せかけて執拗な抵抗を續け却々退却しようとしない、これを衝かなければ主力の進撃に影響するので意を決した丸太部隊長は三日朝決死隊志願者の中から村木中尉以下廿一名を選抜、同地に突入せしめることゝなつた、選ばれた決死隊の勇士は白鉢巻も凛々しく酒に變る水筒の水を汲み交して戰友と別れを告げたのち午前十時五十五分雨と飛び來る彈丸の中を白刃を揮つて敵陣に突入、狼狽する敵兵を縱横無盡に斬り殪し遂に午前十一時卅三分同地を占領したが、更に前面の敵陣に突入せんとする際、不幸飛び來つた敵弾は村木中尉の胸部を貫きどつと後に倒れた、中尉はほとばしる血潮をものともせず、再び立ち上つてなほ敵陣に突入せんとしたが深傷に一歩も前進出來ずもうこれまでと意を決し

最後の

力を出し立ち上り兩手を高々と上げて天皇陛下萬歳を叫んだ後壯烈極まる最期を遂げた、かくして同中尉以下決死の突撃にさしもの後神溝北側高地もわが手に歸するに至つた

新學年小學校に軍人先生の登場
銃の代りに白墨を

【東京國通】傷痍軍人を小學校の教壇に迎へその貴重な體驗を通じて兒童に國防に關する認識と傷痍軍人に對する尊敬感謝の念を植ゑつけ第二國民の教化に當らせやうと軍事保護院では昨年五月から東京、大阪、京都、同九月からは宮城、岡山、福岡の各師範學校で尋常小學校本科正教員養成を開始し、來る新學年には第一回の軍人先生が教壇に送られることになつてゐるが更に明年度事業實施並に生徒募集について十日軍事保護院に櫻井業務局長をはじめ文部、陸海軍關係官、各師範學校長等參集打合せを行つた結果、明年度からは尋常小學校本科正教員（尋正）の養成のみでなく更に小學校本科正教員（本正）に進む途を開くことに決定した、受驗資格は中等學校卒業及びこれと同等以上の學力を有するもので教育期間は尋正一年、本正二年定員は卅名となつてゐる

興安嶺の巻狩り
新春興安嶺の蒙古部落から都へ送る勇壯な物語り

興安東省では昨秋以來秘境興安嶺の猛獸狩りを計畫し、各旗を通じて情報蒐集中であるが、阿榮旗の索倫人二十五名はこれが前哨戰として正月早々舊式なベルダン銃と酒の皮袋をさげて出發、阿倫河上流大興安嶺の雪の密林地帶を約二十日にわたつて馳驅中である、一行は廿三日猪、ノロ、鹿、熊、豹等自慢の獲物をさげて下山するが同省では旗公署所在地の紅花棵子で彼等の勞を犒ひ、盛んな品評會を開いて士氣を鼓舞、引續き各旗共管內のオロチヨン、蒙古原住民を動員して獵場を調査せしめ大々的興安嶺の猛獸狩りを舊正早々決行の豫定である

耕作用機械製造會社設立

農業耕作用機械製造を目指す耕作工業會社（奉天）はこの程設立準備を了つたので目下關係部宛これが認可申請中である、同社の資本金は當初大體百萬圓の豫定で認可下り次第奉天鐵西區に工場の敷地を得て工場建設を進める筈

鐵不用の煖房
陣野式裝置の驚異

鐵、石炭の節約が强調されてゐる折柄從來使用され來つたペーチカ、スチーム、ストーブ等の採煖裝置を改良して鐵の使用を全廢すると同時に燃料をうんと節約しようといふ劃期的煖房裝置が考案せられ素晴しい反響を捲起してゐる同裝置は陣野式溫氣煖房と名づけられ滿洲中央銀行營繕課製作主任陣野貞吉氏の五年間の努力が結實したものであるがこの間は關中銀副總裁、中村同營繕課長以下の精神的並に技術的援助による美談が織り込まれるなど成功の蔭に人知れぬ辛酸が秘められてゐるが、現在の慣用されてゐる間接採煖法を完全に抛擲して直接採煖法を採用茲に鐵に代る耐火性放熱土管用材によつてボイラー放熱器、配管の作用を一位一體とし曩に實用新案の登錄を行ひ更に近く日滿兩政府から夫々特許登錄の許可を受けることとなつてゐるこれが企業化に先立ち十日午後中村中銀營繕課長、久富同總裁秘書、營繕課三谷今朝一氏並に考案者たる陣野氏は斯界の權威二十數名を公主嶺の中銀社宅に案內し新裝置の實驗に對する忌憚のない意見を求めたが焚口から點火された熱量はオンドル式に床下にめぐらされた長い煙道を傳つて壁ペーチカにされた煙突に拔け出るまで熱を追つて逃がさず、空氣循環の自然現象を利用して放熱が繰返される結果、熱量の殆んど百パーセントが利用されるので僅かにバケツ一杯の石炭で一晝夜を完全に保つてゐるそれが證據には焚口附近は千五百度もあるに煙突から外氣へ放散される溫度は僅か二百度內外に過ぎないために、床下から疊へ傳ふほの溫かさは正に頭寒足熱の理想にマッチして戶外の酷寒をよそに煖溫の醍醐味を滿喫することが出來るといふ事實をつきとめ實驗立會者一同も「こりや乙ぢやわい」と讚嘆の聲を洩したが、今月一杯に新京市內西朝陽路五〇二先に實驗家屋を設置するとゝもに研究事務所を設け、更に今後の研究に完璧を期することになつて居る

新規事業費壓縮
純增額は教育費の移管
關東局豫算內容

昭和十五年度關東局特別會計豫算は六日の閣議で決定されたが、豫算總額は歲出經常部二千五百八十三萬餘圓、同臨時部三千八十八圓、歲入經常部二千七百八十三萬餘圓、同臨時部二千八百八十八萬圓の總計歲出歲入共五千六百七十萬九千圓となつた、これを十四年度の歲出歲入各三千四百十九萬圓に比較すれば二千二百五十二萬八千圓の增額となつてゐるが、このうち約一千萬圓は教育費の關東局移管による膨脹であつて爾餘の一千萬圓が純增加となつてゐる

關東局の今次豫算編成に當つては政府の方針と時局的要請に基いて極力新規事業費目に壓縮を加へ所謂健全財政主義を旨としてゐるが、一方管下の現狀に鑑みて緊急差措き難き施設に付いては財政の許す範圍に於てこれを計上し、特に生產力擴充施設、航空施設の整備、專門教育機關の新設並に設の擴充、在滿日本人教育施設充實、警察警備に關する諸施設充實、電々會社增資に伴ふ拂込等に重點を置いて編成してゐるが歲出豫算中新規事項の主なるものを擧ぐれば次の如し

（單位千圓）

一、產業に關する經費の增加（生產力擴充）　四〇二
二、司法に關する經費の增加　五〇
三、警察及衞生に關する經費の增加　二二九
四、教育に關する經費の增加　八二〇
五、遞信事業に關する經費の增加　二三一
六、航空及觀測施設費增加　八八
七、在滿（關東州を除く）日本人教育施設費增加　九、〇〇五
八、船員保險令實施費增加　二四二
九、財務及專賣に關する經費增加　六四六
一〇、繼續費　一、一四七
（內譯）（イ）旅順高等學校新設（總額一、〇六六）初年度　二〇〇
（ロ）大連香爐屯其他土地整理費（總額五九四）初年度　一五八
（ハ）普蘭店港浚渫費（總額四三二）初年度　一一六
（ニ）航空保安施設費（總額二六一）初年度　五八
（ホ）飛行場整備費（總額一、九〇〇）初年度　五〇〇
（ヘ）國勢調查に關する經費（總額三一三）初年度　一一四
一一、臨時軍事費財源繰入　一二、九六〇
一二、滿洲電信電話會社出資拂込金　二、八一二
一三、紀元二千六百年記念事業に關する經費　六四
一四、海事に關する經費の增加　六〇

滿洲畜產を特殊會社に改組
收買網、種畜場擴充

五ヶ年計畫の進展、開拓國策の擴充に即應し畜產物需給調整を企圖した康德四年創立の滿洲畜產では爾來生畜、畜產物の賣買、輸入、配給の統制機關として活躍する傍ら畜產加工關係會社等に對する投資、融資を行ひ逐次畜產界の統制强化を圖つて來たが昨年來未拂込金二百五十萬圓の徵收を了したので本年度事業擴充計畫に照應して同社の增資は必至と見られるに至つた、即ち國內家畜資源の確保は單に民食、勞作方面より要求されるのみならず國防的に或は產業開發方面よりもこれが强化增殖が要望され、家畜需要、羊毛豚皮等畜產加工物の供給の圓滑は國內國際關係の上から焦眉の急となりつつあるに鑑み、同社は關係方面との協議の下に現在の準特殊會社より特殊會社に改組すると共に此の際資本金を少くとも倍額四千萬圓乃至五千萬圓見當に增資し、家畜輸入の積極化、皮革、畜產品の國內收買、販賣網の强化、種畜場の增設等に資せんとする方針を決定したものゝ如く、本年度事業としては昨年末錦州に竣工せる加工工場に引續き本年更に西滿方面に二ヶ所の畜產加工場の新設を豫定すると共に懸案の滿鐵系哈爾濱畜產加工場の買收をも上半期中に約百萬圓を以て讓渡を受けることゝし、更に子會社たる畜產工業の增資をも計畫中である

第九次開拓團入植地決定

本年度吉林省舒蘭、磐石縣下に入植の第九次開拓團の出身縣村は次の通り決定、先遣隊は十五、六日頃到着することゝなつた

△舒蘭縣上金馬川（分村）出身地廣島縣世羅郡（分鄕）二百戶、先遣隊十八名、團長梶谷明治郎氏

△同下金馬川　出身地山口縣玖珂郡桑根村（分村）二百戶、先遣隊十二名、團長藤村景氏

△磐石縣驛馬　出身地群馬縣（縣單位）二百戶、先遣隊二十八名、團長匂美武平氏

△同賴馬　出身地、群馬縣群馬郡相馬村（分村）二百戶、先遣隊十四名、團長岩倉昇氏

なほ各四ヶ所とも治安に何等不安なく附近には集團、自由開拓團多數入植し吉林省でも絕好の開拓地であり特に磐石の二ヶ所は同縣出身の第七次嶼陷山開拓團入植地から僅かに二、三里離れた所にあつて最も惠まれてゐる

興亞結婚とは
本年の流行はこれ

生めよ殖せよの國策線に沿うて大陸に共白髮の契りを結ぶ興亞結婚式は最近全滿各地共に激增し力强い結婚行進曲が相次いで高らかに奏でられてゐるが來る十四日午後五時から國都新京神社において珍しい國策神前結婚式が擧げられることゝなつた、新郎は三重縣三重郡菰野町出身滿鐵新京支社庶務課勤務池田俊雄氏（三五）新婦は佐賀縣神崎郡仁比山町出身常安たのさん（二六）で滿鐵新京支社庶務主任吉永定一郎氏が出雲の神樣となつて擧式の運びとなつたものであるが、時局柄極めて質素な式をあげ從來結婚希望の獨身者の最大の惱みであつた披露宴を廢止する代りに滿鐵食室において祝賀會を開催、友人同志が會費一圓を出して兩人の前途の多幸を祈ることゝなつてをり、その會費一圓の內譯は普通卅錢の滿鐵ランチを當日に限り七十錢の特別ランチとし、酒は滿鐵消費組合から原價で取寄せるといふ按配だ

なほ結納金として新郎から百圓を新婦に渡し、新婦はその返しとして五十圓を新郎に渡し合せた百五十圓を郵便据置貯金とし子供が出來れば子供の名儀に書替へ第二世の育英資金に充てることゝなつてをり結婚はしたいが資金に困る獨身者にはもつて來いの形式なので滿鐵社員はもとより各方面の注目を集めてをりどうやら康德七年の流行となりさうである

日航南洋ライン用大型機一機完成

【東京國通】南洋諸島と本土とを結ぶ東京＝サイパン＝パラオ間四千六百八十粁の海の國策ラインは昨年來川西式四發大型飛行艇で貨物のみを輸送練習飛行を行ふ一方新大型艇七臺を艤裝中であつたがこの程最初の一臺が完成した、この新鋭機は乘員七名のほか乘客十七名を收容出來、內部の設備は寢臺、座席その他頗るモダンなものであるが何といつても純國產機に上下二段の寢臺が出來たのは初めてのことである、日航では年內に七機を揃へ南洋への貨客輸送の萬全を期することゝなつてゐる、なほ七月からの南洋島內線も同機を使用する豫定である

太陽に黑點二つ

【大阪國通】太陽の黑點はその增減に伴つて太陽自身又は地球に種々の變化を及ぼし、最も甚しい時は磁氣嵐を起して地球上の電磁波をかき亂し無線電信に變調を來してゐるといはれるが、去る六日地球直徑の約五倍大といふ最近珍らしい大黑點二個を發見した大阪市立電氣科學館では九日午後三時から同館屋上に十センチ屈折望遠鏡を据付け原口技師、東亞天文協會々員大口君等によつて大黑點の撮影に成功した最初の發見當時中央稍右下にあつた二個の大黑點はその後だんだん下方に移動しもう二、三日經てば裏面に廻つて地球からは見られぬやうになるが、今明日中は一般素人でも日沒際の陽光の鈍い時には肉眼で明瞭に眺められる

大同炭礦創立總會

【張家口十日發國通】大同炭礦株式會社創立總會は十日午前十一時遠來莊において開催、設立委員長關口保氏より設立に關する經過報告あり次いで定款承認後理事及び幹事を選任し同一時散會した、尙同社は本店を張家口に置き資本金四千萬圓、總株數八十萬株（一株五十圓二分の一拂込）出資額は蒙古政府二千萬圓、北支開發一千萬圓、滿鐵一千萬圓で事業計畫十五年度廿五萬噸、十六年度四十萬噸出炭の豫定である、役員左の如し

理事長夏恭（前政府副首席）副理事長內海治一（滿鐵參與）理事鄭平甫（蒙銀幹事）竹內元平（前察南政廳次長）大場辰之助（前民政部次長）小笠原豐一（北支開發）粟屋東一（滿鐵）兒玉八郎（同）幹事關口保（政府總務部長）加瀨谷英彥（北支開發）

中銀發行高引續き收縮

年末七億に垂んした中銀貨幣發行高は年明けとともに引續き收縮九日は更に二百萬圓を減じて紙幣五億八千六百萬圓、鑄貨三千三百萬圓合計六億一千九百萬圓となつた、尙當日の預金は二百萬圓を減じて五億九千四百萬圓、貸出は八億臺を割つて七億八千百萬圓と三百萬圓を減少した

貨幣發行平均額

昨年末二十四日より三十日に至る週間中平均貨幣發行高左の通り（單位千圓、△印減）

貨幣	六六八、〇三一
紙幣	六三四、四七四
準備	三二四、一三二
保證	三一〇、三四二
鑄幣	三、五五七

中銀帳尻（八日）

八日の中銀帳尻左の如し（單位千圓△印減）

		前日比增
紙幣	五八九、一九七	△七、四二六
鑄貨	三三、一九九	一〇
預金	五九七、二〇四	一、四四三
貸出	七七八、六五	△三、一三六

新人アナ國都入

電々放送部では昨秋來滿洲國の文化建設に譽の戰士として活躍する新人アナウンサーを日本放送協會に依囑募集中であつたが、このほど詮衡を終り十九名の新人を獲得した、新人のうち十四名は本年三月帝都の各大學、專門學校を巣立つ新卒業生で陽春四月までに滿洲入りするが、その他の左記五名は十三、四日頃一足お先に晴れの國都入りをすることゝなつた

▲伊藤晉次郎（三一）中大專門部出身（元大木合名勤務）▲高橋增雄（三〇）日大專門部藝術科出身（元小學校教員）▲岡田正夫（二八）明大專門部文藝科（元圖書館司書）▲岩田脩（三〇）中大經濟學部（元日本油脂勤務）▲米久保太刀彥（二三）早大專門部商科（元東京發動機勤務）

なほこれら新人アナは新京中央放送局において約一ヶ月訓練のうへ全滿各放送局に配置され、電波戰線に奮鬪することゝなつてゐる

全日本庭球順位決定す

【東京國通】日本庭球協會では九日午後昭和十四年度全日本順位を左の如く發表した

△男子シングルス＝1中野文照（法政）2鶴田安雄（慶應）3小寺治雄（神戶商大）4木村靖（早稻田）5種田組（同）6山縣龍三（慶應）7鍵富孝吉（同）8生島俊治（關學）9廣瀨正之（關大）10中原資健（早稻田）

△同ダブルス＝1堀越春男＝鶴原謙三（關學O・B）2藤倉五郎＝山川惠三郎（慶應）3生島俊治＝山縣廣（關學）4鶴田安雄＝鍵富孝吉（慶應）5木村靖＝種田組（早稻田）6楠本繁＝山縣龍三（慶應）7山縣富士男＝隈丸次郎（同）8不破潤三＝松山詩（京大）9中牟田喜一郎＝小寺治雄（神戶商大）10中原資健＝鷲見保（早稻田）

△女子シングルス＝1加茂純子（田園）2岩田いつ子（甲子園）3木梭豐子（日本生命）4澤田佳（日本生命）5朝長慶子（田園）6濱田花子（甲子園）7山川みち子（甲子園）8加茂幸子（田園）9宮城黎子（田園）10上野道子（田園）

△同ダブルス＝1木梭豐子＝澤田佳（日本生命）2戶田貞代＝鳴川靜代（甲子園）3朝長慶子＝上野道子（田園）4加茂純子＝加茂幸子（田園）5大浦みち子＝加茂純子（田園）

冬の大衆醫學

寒さは痔に禁物

大抵の人にあるが自覺なさらぬだけ

寒くなると痔を病む人が多くなつてまゐります、この病氣には冷えるといふことが一番禁物なのですから、寒くなると平素自覺症狀のない人でも痛むやうになるのです、一體日本人にはこの病氣が非常に多く、大抵の人は痔らしい兆候があるのですが、よほどひどくならないと自覺症狀を覺えませんので、ついなげやりしておきます、特に一に度

お産 をした經驗のある婦人ですと、大抵の方がしらずしてこの病氣に冒されて居ますから御注意が肝要です

×　×

痔は生命にかゝはることがないといふので大抵の人は放つておくやうですがこれは大きな誤りです、この病氣は第一毎日々々憂鬱で仕事の能率が上らないで、その上出血する場合もあります、これがため體の衰弱を來たすものはおびたゞしいものです、よく〳〵ひどくなつてからでは治療をしようとしても體が衰弱してしまひ

一命 を失ふやうな場合が多いのであります、痔と榮養の關係は非常に密接な關係があるのです、日本人にこの病氣が多いのも、日本人は外人に比較して榮養狀態が惡いことに基因してゐる場合が多いやうに思ひます、痔を病む人も結局は榮養不良の人が多いのですから、平素から榮養に充分注意して欲しいと思ひます、又この病氣にはアルコール分や刺戟分は禁物で、特にアルコールは非常に病勢を惡化させますので、よくお正月すぎには急に患者が増えるのに驚いてをります、ですからなるべく酒をのまないやうにして下さい、この病氣の根本的の治療は

患部 の組織を全然かへて行はねば根治はむづかしいので、よく切つて治療したものですが、これには種々の危險が伴ふので、最近の治療としては特殊の塗布藥で組織をかへてゆく方法が發見されてをります、急の手當としては患部をよく溫めて、コウヤクをはつておけばよいのですが、これはほんの一時的のものですから根本的に治療しなければなりません

弘法大師掛軸施與

愛知縣內海町岩屋寺では武運長久御祈願の爲め弘法大師御掛軸を施與する由なれば御希望の御方は直接申込まれたい

家庭料理

香ばしい蒸し壽司

魚屋でよいあなごをみかけたら、少し手をかけて香ばしい蒸し壽司をこしらへませう

▲……材料（五人前）冷御飯（丼に入れ八分目宛）五杯、あなご五十匁、椎茸（きくらげ）五、六個、干瓢五本、鱈切身四十匁、玉子二個、グリンピース大匙五、六杯、砂糖、酒、醤油、酢、食紅、調味料少々

▼……調理法は、椎茸またはきくらげは水につけて軟くしてせん切りにしておき、干瓢は一合の水に對し大匙二杯の鹽をまぜた中につけて、軟くなりましたら水であらつて六、七分の長さに切つておきます、次に飯に椎茸を入れ、かぶる位に煮出汁を入れ、醤油と砂糖にて味を調へ、弱火にかけ、四五十分煮つけましたら、椎茸を汁からすくひ上げて殘りの汁に干瓢を入れ、醤油と砂糖少し宛加へ入れて、弱火で廿分位煮つけておきます、あまり煮つけるとまづくなります

▼……次にあなごを開いて適宜に切り、酒、醤油を等分にまぜた中に廿分間位つけてから串にさして、漬汁を二、三度塗りながら蒲燒にして小口から細くきります、次に鱈の身だけとつて俎の上で細かく庖丁で叩いてから、すり鉢にうつしてよくすりつぶし、鍋に大匙五杯の酒と大匙三杯の砂糖と鹽小匙半杯と食紅を淡く色づけにまぜ合せ、煮立つてから鱈を入れ、箸でよくかきまはし、汁氣のなくなるまで炒り煮しておきます

▼……次に玉子は大匙一杯の砂糖と小匙三分の一ほどの鹽をまぜて、薄燒玉子をこしらへてから更に一寸位のせん切りにするのです

別に酢大匙六杯、砂糖大匙四杯、鹽大匙一杯半、調味料少々をまぜ合せた汁を御飯にふりかけながら、あなごと椎茸、郷干瓢をまぜてそれをたぎらした湯を入れた蒸器に入れて十分間位蒸し、丼にもり分け上に糸切玉子と鱈そぼろとグリンピースを配合よく添へて供します

石鹸分を除くには？

洗濯の水すゝぎ

寒さと共に水の冷たさが一入感ぜられるやうになりますので、家庭の洗濯は段々憶劫になります、殊に

最後の 水濯ぎは厄介なもので、冷たいと思つてこれを不十分にすると、石鹸分を殘して生地に惡い影響を與へます即ち毛絹等のアルカリに弱いものは地を弱めるばかりでなく、色や艶を惡くしたり、純白なものも眞白には仕上りません、石鹸は御承知のやうに、水よりもお湯に浴け易いもので、夏の水のやうに溫度の高い場合はよく

石鹸を 浴かして水濯ぎの效果がありますが、水が冷たくなると、石鹸を溶かす力が乏しくなるので、濯ぎの效果は一層惡くなります

總て洗濯物は、夏でさへ少くも四度位水濯ぎせねば完全に石鹸がとれませんが、冬は以上の關係からもつと回數を多くせねばならぬ理窟なのですがそれが却々行はれ難いのです

そこで石鹸分を早く除去する方法ですが

最良の 方法は溫湯を用ひることです、但しこれは濯ぎ水全部溫湯を用ひることは經濟の點からも却々困難ですから最初の濯ぎ水だけでもよろしい、次には洗濯ソーダを盥三分の一位の水に對して親指大二個位をとかした水で濯ぐと石鹸のおち方がずつとよくなります

洗濯ソーダの代りにお手許にアンモニア水があつたら盃一杯位の分量を加へても效果があります

最後に今一つの方法は最近よく宣傳されてゐる新洗滌劑として中性石鹸とか、酸化石鹸とかの名稱で知られてゐるものを

普通の 石鹸の三分の一か五分の一位を初めから石鹸に加へて用ひると洗滌效果を助けるばかりでなくこれは浸透性の強いものですから、よく織物纖維の間の石鹸分も濯ぎの場合にとつてくれます

これは石鹸に比べて遙かに値段の高いものですから、かういふ意味で用ひるのがむしろ經濟的で效果ある使用法でせう

上海在留邦人六萬五千名

【上海九日發國通】復興の一途を辿る大陸に進出する日本人の數は日々激增し、上海在留日本人の數は事變前の二倍を突破するに至つたが、當地總領事館警察署本年一月一日現在の調査によれば昨年に比し更に八百名を增加、總計六萬四千八百二十九名に達した、その內譯は左の如し

內地人
男＝大人　二七、二〇四名
　　子供　九、九二[illegible]名
女＝大人　一七、五五九名
　　子供　九、九[illegible]名
計　五六、六四九名
戸數　[illegible]戸
朝鮮人數　[illegible]名
戸數　[illegible]戸
臺灣人數　[illegible]名
戸數　一、一〇五戸
本邦人累計　六四、八二九名
戸數　[illegible]戸

なほ當地在留外人數は昨年十一月現在米人三、八〇八、英人九二四三、佛人二、五五四、印度人二、三九一、ドイツ人一、九三四、ポルトガル人一、五二〇、ロシア人一四、八四五、その他二、〇三九、累計三八三三四に上つてゐる

正月疲れの肌の手入れ

先づ休養させる

正月疲れの肌のお手入れ法を申し上げませう

◇…お正月の間はとかく厚化粧をして肌を酷使する上に、カルタ會などで夜更しをして充分睡眠を取らなかつたり、遊びつかれて夜のお手入れを怠つたりなさり勝ちな爲に、どうもお肌を荒す方が多い樣です

◇…何よりも先づお肌が疲れてゐるのですから、休養をさせて榮養をつける事が第一です、お肌の休養とは夜ねる前に必ず晝間の汚れを落して、丁寧にマッサージをし、たつぷり睡眠を取ることです、次に榮養のために、一日おき位にマッサージの後ゼリーのパックかミルクのパックを致します

ゼリーのパックはゼリー狀に出來てゐるパック劑をお顔に塗ればよく、ミルクのパックは牛乳の中に澱粉（メリケン粉で結構です）をまぜて泥狀に煉つたものをつけるのです、いづれも十分か十五分位おいて生乾きの時、濡れタオルで拭き取り、弱酸性の化粧水をつけておきます

◇…猶、御年始などで外出する事が多く、寒い戸外の風で御顏が荒れたと云ふ樣な方には油の美顏術が良いと思はれます、オリーブ油か椿油の純粹なものを用意し、これを體溫位に溫めて中にガーゼを浸して置き、マッサージの後に此のガーゼを御顏に當てる譯です、ガーゼが冷めたら又溫かいものと取換へ、三四回試みたのちすつかり油氣を落としあとは弱酸性の化粧水をつけて置くだけで結構です

お顔を冷水で冷やす

肌のあれ易い方に是非お奬めします

寒さに向つて肌のあれ易い方に是非實行していたゞきたい二つの方法をお敎へしませう

・脂肪分を肌から絶やさぬ事

その一は油氣を肌から絶やさぬ事です、これは誰方も御承知のことで就寢前にオリーブ油をつけたまゝでやすむとほこりがつき易く、ベタベタして氣持もよくありません、そこで油をつけた上に亞鉛化澱粉、又タルカムパウダーを輕くはたきますと、粉で一つの膜をつくるために皮膚の水分の蒸發を防ぎ、肌がサラサラと氣持よく柔らげられ、油を長く保つて吸收をたすけることになります

・一日一回以上の冷水洗顔

その二は肌の鍛錬法として一日一回以上冷水洗顔をなさることです、寒いと兎角お湯ばかり使ひますがこれはシワの原因ですから微溫湯で汚れを落した後、冷水で顔を冷やすのです、若し冷水で刺戟が強すぎる方はその中にグリセリンを入れてベルツ水を垂らしてお用ひになればよろしいのですこれを連續なさいますと丈夫な艶々しい肌にすることが出來ます

代用食と混食

滿洲糧穀會社の話

（一）節米の必要

どうして米が不足するか

これまで滿洲國では國內で水稻や陸稻が產せられる上に、國內の生產量で足りない分は年々日本や朝鮮や其の他から米を輸入して參りました、そして米にこと缺くといふことはなかつたのであります、然し既に新聞紙上で御承知でもありませうし更に家庭の御臺所をお預りなさる主婦さん達が身を以て御體驗なされてゐるやうに、米屋に米を持つて來て貰れといつてもなかなか持つて來てくれないし、滿鐵の消費組合のやうに家族の員數に割當てゝ配給してゐるところもあり、とに角最近になつて米に不自由を感じ、窮屈を感ずる樣になつて參りました、どうしてこんな風になつて來たかと申しますと勿論需要量が供給量より多くなつて來たからであります、では何故需要量が多くなつたかと申しますと先づ第一にこれまで餘り米を食べなかつた滿人が、小麥や小麥粉の品不足と値上りのためにその代りとして米を食べるやうになつて來たこと、第二に內地人が潮のやうな勢で入滿して來たこと、第三に戰時下特殊な方面の需要が增大して來たこと等が原因となつてゐる上に、元々國內生產量が不充分であるのに、これまでの主なる輸入先であつた日本內地でも長期戰下の食糧政策としてできるだけ米の輸出を手控へるやうになつてゐるし、爲替の關係で泰國其の他第三國からの輸入も思つたやうにハキハキとは運ばないので、このために窮屈になつて來たのであります、米は東洋にあつては文化程度、生活程度の一つのバロメーターといはれますから滿人の生活が安定向上して來てゐる今日、米の需要は今後共減るどころかふえる一方であり、日本內地人の入滿も增加の一路を辿るばかりであり、而も長期戰下の今日としては何を措いても軍需の確保は必要不可缺であります、滿洲國政府としてもかうした需要の增大を見込み外にたよらずなるべく不必要なものを抑へて自給自足できるやうにするために積極的な增產計畫を樹て着々これが進行中でありますがかうした積極政策と共に、一面どうしても節米して需要と供給のバランスをとる政策も必要になつて來てゐます

節約する必要

今まで內地人特に都會生活者は瑞穗の國に生れ、豐富な米を見て來て米といへば米屋にあるもの位に考へ、米の有難さといふことに鈍感になつてゐますが、米の一粒一粒がそのまゝ農民の汗と勞働の結晶であり、而も國民生活の源泉であることを思へば、一粒一粒もあだやおろそかにはできない筈なのであります、食堂や其の他で食べ殘したり、腐らしたりしてそのまゝ平氣で捨てるなどといふことは「勿體ない」といふことを知らな過ぎたことであります、米の有難みをしみ〴〵と感じ、勿體ないと感じたならば、今までのやうに、金さへ出せば捨てゝも構はないといふやうな誤つた考へはこの際棄てなければならないのです、古來戰爭の最後の勝利は兵糧を餘計持つた方に占められ、食糧が豐富である國はきつと强大になるといはれます。殷鑒遠からず、一九一四年から一八年にかけてのヨーロッパ戰爭で獨逸が敗北したのも色々の原因はありますが最大の原因は國內が食糧飢饉に陷り思想不安が濃くなつたからだといはれて居ることに徵しても、東亞新秩序建設の今日に於ては、國民の一人々々が國家の食糧政策に協力し、官民一致擧國一體となり、一糸紊れず食糧の需給を圖るといふ事は何よりも大切なことなのであります、さうした國民の心からの眞劍な協力がなかつたならば、戰時の食糧政策の成功的の遂行といふことは期し得られないのであります、ですから國民全部が國家の食糧政策に協力するといふことは、結局その國の興隆の原因であり、これに反對したり或ひは消極的にサボタージュしたりすればその國の力を殺ぐといふ結果にもなるのであります、一體に主食といふものは永年の習慣の惰性もあり國民的な傳統的嗜好もあつて、一朝一夕でこれを變更するといふことは至難なことであります、これまで米だけ食べてゐた國民に米を全然食べてはいけない、高粱か粟を食べろとか一日三回を二回にしろといふのは無理かも知れませんが、餘り贅澤な食べ方をしてはいけない、米を節約する意味でこれまでの主食たる米に多少の混ぜものをして我慢しろ、といふことは今日の米穀事情、食糧事情からいつて決して無理なことではありません

忍ぶべきを忍ぶ

御承知の通り、我が滿洲國にあつては、米こそ不足してゐますが、幸ひにして高粱、玉蜀黍、粟等の雜穀は勿論國內であり餘つてゐるし、大豆に至つては世界產額の八割を占めてゐます。そしてその榮養價値に至つては米とそれ程大差のないことが科學的に證明されてゐるのですから、かうした有り餘る雜穀類との適當な混食をするといふことは、節米の方法としては最も賢明であると申すべきでありませう、そして又さうした混食、代用食によつて米を節約することが、とりも直さず戰時下國民の義務であり、又それが國策に殉ずるのであれば國民の誇りでさへもありませう、忍ぶべきを忍んでこそ、勝利の榮冠を獲ち得る事が出來るのであります、節米こそ、忍ぶべきを忍ぶ國民的試煉なのであります、以下、最近の代用食、混食等について特に榮養、調理法につき簡單に說明し節米對策に御協力願ひたいと存じます

ラヂオ　けふの番組

十二日【金曜日】【M・T・C・Y　新京放送局】

朝

七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、〇〇（大連）初等滿洲語講座　秩父固太郎
八、二五（新京）氣象通報
八、三〇（新京）朝の音樂（レコード）交響樂、交響曲「軍隊」（ハイドン作曲）ウイン交響管絃樂團、指揮ブルノー・ワルター
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東・奉）經濟市況
九、四五（新京）建國體操
一〇、〇〇（大連）經濟市況
一〇、〇五（哈爾濱）幼兒の時間、オハナシ「ブタトタヌキトネコ」山野順平、小島松
一〇、二〇（奉天）家庭の時間「滿洲生活の糧食品に就いて」滿洲糧友會、濤
一〇、四五（新京）家庭メモ
一〇、五〇（新京）料理獻立
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（新京）晝の演藝、愛國歌（レコード）海行かば（東京音樂學校）北滿持久軍の歌（上原敏）仰げ軍功（霧島昇）護國の女性（關種子）空を仰いで（藤原亮子・他）日章旗の下に（四家文子・他）決意一番（藤原義江・他）
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（奉・連）經濟市況
一、〇五（東京）經濟市況
二、一〇（奉・連）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況

夜

四、〇〇（東・新）ニュース　氣象通報
四、四〇（奉・連）經濟市況
四、五〇（東京）春場所大相撲實況（二日目）＝兩國々技館より中繼＝
六、〇〇（東京）子供の時間、對話ラヂオ理科敎室「きかい」理學博士竹內時男
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）防人の歌　中尾德三
七、〇〇（東・新）ニュース　告知事項
七、三〇（東京）國民歌謠　船出の歌
七、四〇（南京）支那の正月を語る（日本語）南京特別市秘書長孫淑榮、南京特別市政府工務局長趙公謹、大民會總務局長朱大璋、維新政府行政院宣傳局鐘道仁、綏靖部軍官學校中佐黃鑑村
八、〇〇（東京）管絃樂、交響曲第二番ニ長調作品三六（ベートーヴェン作曲）日本放送交響樂團、指揮ヨーゼフ・ローゼンシュトック
八、四〇（大阪）ラヂオ風景、川柳初春帳（岸本水府作句、長谷川幸延脚色演出）松井茂男・他
九、一〇（東京）時事解說
九、三九（東・新）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

子供の時間（六時）

理科の教室 "きかい"

人間はどれだけの力を出すことが出來るかといふと、普通の人は十キログラム位の物を持つたり、一秒間に一メートル位を歩くことが出來ます、けれども鳥のやうに高く飛ぶといふことは出來ません、機械の力によると、十トンもの重い物を持ち上げたり、一秒間に十メートルを行くこともわけないことです、科學の進步と機械の發達とによつて、昔は夢としか思へなかつたことも次々に出來るやうになつて來ました、しかし文明の機械でも、所により時によつては充分にその威力を發揮する事が出來ません

新年文藝二等入選

きれはし

伊藤正次

（一）

車道は研ぎすまされて黒く光つてゐた。風は粉雪を車道の上に、花の樣に散らし、集め、または止め、そしてさつとさらふ樣にはこんでゆく。

木下は永安街の停留場でこの粉雪の流れをじつと見てゐた。彼は汚ないソフトをちよこんとかぶり、長いオーバーをだらしなく着てゐるので何かぼうきれが立つてゐる風であつた。康平街の方から車掌だけはみだしてゐるバスが來たが、木下の前を素通りしてしまつた。彼は歩かうと思つた。大阪屋の前から鋪道に行かうとしてふと見ると百樂の方から何時もの女がやつてくる。何時も十一時頃バス停留所で木下とぶつつかる女である。

木下は何時ものとほり知らん顔をしてさつさと行き過ぎた。

自動車が通つた。ぎゆうぎゆう詰めのバスの入口につかまつてゐる例の女が木下の方を見て笑つてゐたが、木下はうつむいて歩いてゐた。

「おい」と聲をかけられた。

「宮田か」

「どう、いそがしい？」

「うん、相變らずの浮草だ」

「どちらへ」

「巷へ行く」

「巷へ行くか。十二時にニツケに來いよ、お茶をおごるぜ」

「すまんね」

「ぢや又」

「ぢや……」

木下は消費組合の角からまがると、大阪屋號に入り本を拔き出してはペーヂをくつてゐたが、そこものつそり出ると、豐樂劇場の横の空地を斜に雪の小徑を康德會館に入つて行つた。

○

木下が浮草だと言つたが、街の横町といふ横町から原つぱが見える、といふ象徵的な言葉が彼の氣持にぴつたりしてゐた。彼は雜誌記者だつた。

假に浮草として見ると、流の間にぐ浮きしづむ根のない草のやうなもので、そんな生活より彼は何か根のある生活を求めてやまなかつた。

○

ある畫家の言葉を借りると、ニツケの喫茶部は、てめえの家にねえやうな立派なテーブルとクッションのついた椅子があり、可愛い女の子はゐるし、安く休憩出來るぢやないか、その上こゝへ來ればきつと誰かに會へる、何と樂しいことぢやないか。

このニツケへ宮田は十二時にやつて來て、入つて來るものにすぐ目につくやうな位置をしめて、木下を待つた。

その頃木下は康德會館の×會社で林といふインテリと話をしてゐた。林は次のやうに言つた。

「私はつねぐ考へてゐるのだが、大陸にゐる日本人は、獨創的な、言ひかへれば眞に日本人向きな建築物や住宅が望ましいと思ふ。いつまでたつても外國の借り物ではどうにもならない。試に大同大街の建物を見るがいゝ。どれもこれもマッチ箱を積重ねた樣で、みな灰色だ、何のうるほひもない。東京などの建築樣式ではだめだ。建物だけ東京式にやつても、東京の樣に周圍との調和がない。その上住宅ときたら一部のぞきみなせまくるしい屋根裏暮し。これでは人間は安まる筈がない。大陸の風土を測量し、大陸日本人の心理を考へ、その上で建築は行はるべきで、金にばかり目のくらむ建築家には到底人間の家は出來ないのである。その點白系露人や滿人は賢明な策を講じてゐる。露人も滿人も、特に露人は住宅に力點をおき、紅や青や黃の原色をつかつて裝飾し、殺伐になり勝ちな大陸生活にゆとりをあたへ、樹木など豐富に植ゑて無聊から人間をまもつてゐる」

「よいお話をおきゝいたしました。ありがたう存じました」

そこを辭して十二時半頃木下はニツケに入つたが宮田はもう居なかつた。とりあへず紅茶を註文してゐると、××雜誌の木下周二さん、お電話です、とカウンターによばれ、電話に出ると、宮田の聲で

「木下！今夜十時に吉野町のルビーに來てくれ、一寸話があるんだ」

「また例の話か」

「うん、でもないんだ、ぢやたのむぜ」

「よし、行かう」

例の話といふのは女の話である。宮田は女をつくつてはすぐ捨てゝしまふ奇妙な男である。

興亞の春を歌ふ（短歌）

橋本淺夫

まかがやく天の光よおもむろに射し出でたまへ太鼓は鳴り出づ

悠久の時のしらべをさながらにとよむ太鼓よ皇國の鳴り

ひしひしと稜威の國に生れにける喜悅にふるふ太鼓は鳴りつつ

橿原の宮居の庭にうちならす黎明のしらべは大陸に聞こゆ

大陸に勝鬨あげて兵進むそのかちどきに和して鼓は鳴る

すめろぎのみ國にとよむ鼓のひびき八紘一宇おもむろに聽け

いさぎよし國かたむけて聖業にひた進むなり皇紀二千六百年

こし方をひそかに念ひここにしばし呼吸ととのへむ皇紀二千六百年

この歲にまさしく逢ひし喜悅をかたく保ちつつ共に生くべし

皇國を中軸として展かれむ興亞の春は　いよよきびしく

滿系文學展望

（二）

李守仁

△譯文界

滿洲譯文界のこの一年こそは、まことに文學史上燦爛たる頁を留めた記憶すべき年であつた。即ち三つの單行本が上梓され、更に三篇の長篇が新聞紙上に連載された。

若し「文學は時代の反映である」といふ言葉を認めるなら、今日の文學領域中に在つては戰爭文學こそ時代の產物である。故雪笠君か、火野葦平氏の戰爭文學「麥田裡的兵隊—原名麥と兵隊」「土與兵隊—原名土と兵隊」を出版して世に問ひ續いて「海與兵隊—原名海と兵隊」が友人吳郎の手によつて近く發刊の運びに至つてゐることは、正しくその表れといふべきであらう。

故雪笠君は本名馮豫倨、明治大學新聞科卒業、阿部知二、岸田國士の兩氏に師事して學生時代より日本文學の滿洲紹介に努めた。其後日本婦人と新京に家庭を營んで譯文に專念、その流麗な筆致と勝れた解析力によつて譯文界に一異彩を放つてゐたが、前記の二大篇をものして間もなく、七月十五日腸疾患のため忽然として逝いた。前途に多くの期待がかけられながら、二十六歲の若さで天涯に旅立つた同君の死は惜みてなほ餘りあるものであるが、その先驅者としての功績は永久に文壇に輝くであらう。

次に九月、東方國民文庫から出版された漱石氏の「心」がある。古丁氏苦心の譯で、漱石氏の心理描寫が巧みに譯述されてゐる點推賞に値する作品だ。

新聞連載物には十一月から始まつた日本滯留中の梅娘の譯による長篇「白蘭の歌」がある。原作は周知の如く久米正雄氏が來滿して歸つてからの作品で、テーマは滿洲在住の日本人の生活をとりあげ、滿洲とは密接な關係のある作品で、日本文壇にも不拔の地位を築いたものである。これはまた滿映・東寶共同の下に映畫化され主役長谷川一夫に配するに滿映からは李香蘭が出演し、滿洲各地の現地ロケを行つたりしたことから各方面によく知られてゐる。新春早々各館で上映される筈である。

譯者梅娘は、その處女譯「晴天的雨」によつて、すでに原作の感觸を巧みに寫す流麗な筆の持ち主として知られてゐたが、今次さらに一層大きな仕事に手を染めた譯だ。この「白蘭の歌」こそは一九三九年と四〇年を繋ぐ一つの偉大な譯文であると稱しても過言ではあるまい。

讀者は常に心の糧を求めてゐるのだ。これに應へて飜譯界では絕えず日本文學の紹介に努めてゐる。我が文壇の先輩たる儒丐君も夙に日本文藝の紹介に努め、この傾向が發展するにつれて、滿洲讀書界は片端から日本の有名な作品をとり入れることとなつた。斯樣にして年來待望の谷崎潤一郎氏の「春琴抄」がいよいよ昨年十一月から新聞紙上に連載されることとなつた。

谷崎氏の作品は曾て支那で譯出紹介されたことがあるが、それは氏の惡魔派・耽美派的傾向の代表作品であつた。「春琴抄」は谷崎氏が性格描寫にそれと異つた手法を用ひたもので、讀者から多大の期待がかけられてゐる。

このほかに宮起元の「第八路軍從軍記」譯出や、共鳴・楊華其他諸君の短篇譯があつた。今の滿洲には日文からの飜譯が有るばかりで、歐米物の譯は辛うじて冷歌の一、二短篇以外には見當らない。

△中篇創作

最近になつて、滿洲文壇には中篇創作が盛んなことが目立つて來た。これは創作界に一轉期を劃するものであらう。

この傾向は新聞紙の力に負ふところと云はねばならない。但し廣く新聞と稱しても、特に大同報が文壇に寄與した功績の大きなことが認められる。（泰東日報も既に兩三年前から文藝欄に力を注いで來たのではあるが、寄稿者の熱意と態度から云つて、泰東日報所載の中篇創作は大同報のそれに比して劣るやに感ぜられる。それ等はつまり新文學の溫床に安價な戀愛を描いて藝術の眞髓を失つてゐるからだ）

昨年中の中篇創作には次の如きものがある

一、「晝與夜」……王則
二、「同心結」……夷馳
三、「斷續層」……吳郎
三、「失了方向的風」…黃旭

前二篇は相ついで大同報に掲載され文壇に波紋を起した。そしてその波紋は以前に泰東日報が別の中篇創作を掲載して起した波紋より大きい。

王則の「晝與夜」は、昔この滿洲に實在した故事を克明に描寫した。さながら一幅の活ける繪である。巧みな鄉土語が隨所に驅使されて讀者は啓發されるところが少くない。夷馳の「同心結」は興味あるテーマを一種峻烈な筆致で描寫してをり、二者ともに近時稀に見る佳作である。

たゞ前者は上つ調子で、時に作中の人物や事物に對し直接主觀的否寧ろ偏見とも見るべき批判を加へてをり、又後者は筋道やアウトラインに充實した意識を盛る事が出來なかつたのが玉に瑕とも云ふべきである。

以上二篇はすでに掲載を終つた作品であるがさらに以下未完了の二篇「斷續層」「失了方向的風」を見よう。

吳郎の「斷續層」は極めて平凡な素材を扱ひながらイデオロギーの統一を試み且時代性を充分に表現しようと努力してゐる。本篇は「晝與夜」と同じ企圖を持つものだが、前者が農村に取材してゐるに對し後者は都會に重點を置いてゐる點が異る。だがいづれにしてもまだ未完成品だ。八年の完結を待つことゝしよう。

黃旭の「失了方向的風」は泰東中篇創作色から拔けきつてゐない。世紀末的神經病患者であり、新文學の翼に抱擁されて桃色の安逸な夢を求めてゐるさまは舊態依然たるものがある。須らく新しい意識に眼覺め、技巧を棄てゝ藝術の本領を發揮して貰ひたいものだ。

とまれ滿洲中篇創作界には早くも黎明の訪れが見える、燦々●る陽光を浴びるのも遠いことではあるまい。

それにつけても有力各紙の後援は感謝に堪へぬところで既に現在大同報がまた作品募集中である。

このほか山丁の「馬既之夜」と、古丁が自信を以て發表する「平沙」は共に中篇作中の尤なるもので、前者は山丁の作品集「山風」中に收められる筈であり、後者は「藝文志」第二輯に掲載された。

構成上の難

冬木羊二「初雪」（『モダン滿洲』一月號）

まあ作品としてこの月のこの雜誌で取り上げられるのはこの一篇くらゐであらうか。それだけでも、日本の大衆雜誌に比べたらずつとましであらう。

これには貧しい醫學生上りの夫とその妻（前にバーに働いてゐた）が、色々虛榮的な友人夫婦にいぢめられたりしながら、結局貧しくはあれ幸福な家をつくつて行く筋が描いてある。だが、主人公はこの夫婦なのに、物語は友人たちの動きによつて進められるのである。主人公たちは家にじつとしてゐて、時々物を言ひ少しの動作をするだけである。これはこの戲曲の構成上に大きな難點を成してゐると思ふ。もう一と場面、この主人公が對社會的にしつかりと立ち働く場合を加へたならば、も少し違つた成果をあげ得たのではあるまいか。（御垣衛士）

文藝時評

—滿洲文學第四輯—

遠藤美津男

1　文學とヒューマニズム

今日の文藝時評は困難である。それは文學の中心たるヒューマニズムが近代のさまざまな文學に全く據りどころを失つてゐると想はれるからである。私は近代文學のヒューマンテイが解らない。また今日の文學の諸現象を包括的に理解することが出來ないのは包括的に理解する據りどころが求められぬからである。故に文學が時代の中にあつてどんな風に生きなければならないかといふ一定の見地から要求する種類の文學時評はこの時代にあつて理論上にも實際上にも下らぬ事だと想はれる。しかし私は文學のヒューマニズムといふ一つの意味を持つて作品批評をしたい。私の文學のヒューマニズムといふものはどんな作品からも消え去らぬまた求めてゐる空氣のやうな氣分的なものである。私は所謂文學の人道主義者である。故北條民雄もいまの太宰治の作品も作者の人間に根ざした直觀的な文學の眞實性を愛する。また作品批評とても人間の直觀を離れて文學のヒューマニテイを說くことはあらゆる場合に都合のよい空想の論理を巧みに使用することにほかならぬ。

私は文學のヒューマニズムを作品に求めると同時に作品に文學の恒常性たる醇乎たる文學の美しい感動が欲しい。作品が讀者に與へ得る感動こそ文學の恒常性である。時局が文學する精神にさまざまな混亂を與へ時代の嵐の前には文學の恒常性が弱々しく見えるともたとへ現在に於て恒常性ある作品が華かな注目を惹かないにしても、人間の純粹な文學的感動への要求は容易に打消すことは出來ぬ。心にこたへる名作といふものは作者が作品に如何に精神を打込んでゐたか、讀者の感覺は一面愚劣なやうでも文學の恒常性は欺けず時代と共に變る流行作品などが精々十年の歲月は見事に一片の紙屑と決定してしまふ讀者の復讐は恐ろしい。

私たちは生涯に一つの名作を殘すことが出來なくともせめてこころにだけでも滿足することの出來る恒常性ある本格的な作品をつくることを文學する唯一の念願として、時代に考へ拔き彫琢し拔く執着と文學の眞實に生きよう。でなければこの時代の激動期に生れて文學をし、何一つ時代の激動の中に何も生きる作品を殘さぬといふのでは死んでも死に切れないではないか。今更こんなくだらぬことまで敢て言はなければならないのは私にとつても泣きたい程馬鹿々しいことである。これは同人作品評の前提としての私の苦言である。

私は作品の批評は善きにつけ惡きにつけある感動から出發したかつた。それなのに同人の作品がほんたうに一つとして小さき感動すら私に與へることが出來なかつたといふことは非常に殘念であつた。

第四輯は私のみならず讀者は當然作者に惡評を與へるであらう。拙ない文章、くだらぬ私生活の記錄、靑年の文學的感傷等の評語から批評されるのはまだよい。同人は人間に根ざした純文學の眞實な再吟味再考がなされるべきである。小說書出し時代の不逞な文學をなめたやうな創作態度には、よう同人自身が照れぬと想はれる。これは要するに文學のヒューマニズムを失つた同人の文學精神の貧血的な俗化と想像される。—以上は同人の缺陷を指しての惡口ではない。私が同人雜誌「滿洲文學」の將來を想うて愛するあまりの、同人の第四輯の作品に對する反撥と私個人の文學的な爆發である。

皇軍精神を感得

わが艦隊觀兵式の威容に

陪觀の外人感激の讃辭

【上海十一日發國通】去る一月七日上海新公園において擧行された支那方面艦隊觀兵式は上海揚子江灣行作戰以來の武勳に輝くわが陸戰隊の威容を遺憾なく誇示し二萬に及ぶ邦人拜觀者をはじめ陪觀の各國武官、新聞記者團に深い感銘を與へたが陪觀者中の要職にある一外人は感激の餘り十一日左の如き讃辭を上海在勤海軍武官府宛寄せて來た

拜啓　本日及川閣下御親閲の大日本帝國海軍陸戰隊觀兵式を陪觀するの光榮を得、親しく大日本帝國海軍の威容に接し感銘の餘りこゝに一筆啓上仕る次第に御座候、觀兵式における各部隊の優秀なる分列行進はもとより觀兵式場の整然たる配置、進行振り等々を拜見するに及び何れも萬遺漏なく整然として準備致されたるものと拜察仕候、特に各部隊が直立不動の姿勢にある時全く嚴然として微動だにせざるその態度或は及川閣下が御親閲の節の動作において確固不拔の精神を感得せしめれたることに對しては誠に感服の外なき次第に御座候、なほ同列せる他の外人參列者も同樣に多大の感激を受けたることをこゝに申し添へ候　敬具

エロヤン氏　感激の醵金

市內日本橋通り製菓商アルメニヤ主人白系露人エス・エ・エロヤン氏は國防獻金や新京到着の英靈に對し每月花環その他の御供を贈り露系國民としての銃後の途に赤誠を示してゐるが十一日正午市公署庶務科を訪づれ十二日に到着の英靈のお通夜御供料として金百圓を贈つた

同氏は五年前新京に移住事變勃發以來繼續的に獻金を續けてゐるなど奇篤な行爲は關係當局を感激せしめてゐる

“募兵”に大童の協力

市公署から町會へ割當　勸奬に美はしい活動

國軍勇士はわれらの街から

王道樂士若き滿洲國防衛の第一線に立つ本年度國軍の募兵は過般來開始されたが本年度は官民協力による割當て制を以てする劃期的試みでその成果を注目されてゐる、即ち國軍は爾來日滿協同防衛の本義に基き隆々として內容外觀を整備、眞に皇軍の一翼として王道國家の軍隊たる實を擧げて來たが、現下內外の情勢は速かに國軍の整備强化を要望してをり、この國防要請に即應し國軍の一段の完備充實を期し、且つは近き日に施行される徴兵制の演練に資する見地から本年度の募兵については民間側の協力を求め親軍思想の普及徹底を圖らうとするものであつて、國都に於ては市公署が音頭をとり、市から區を經て各町會へ人口に比例し募兵要員の割當てをなすものである

募兵資格

▽滿二十一歳から二十三歳までの滿洲國人民たる男子
▽曾て軍人、警察官たらざりし者
▽痲藥吸煙及び賭博の惡癖を有せざるもの

等の條件が附せられてをり早くも各町會では割當てられた要員に對し誇りある國軍を我等の街から送り出さうと役員は各戶を訪問勸誘に大童の活動は美しい情景を繰り展げてゐる、なほ募兵要員の豫備檢査日割豫定は左の如く來る二十三日から三日間である

▽廿三日　午前十時より中央通、寬城子兩署管內（元吉野區、元敷島區、寬城區、合隆區）檢査場は三笠小學校
▽廿四日　午前十時より長通路署管內（元長春區、東站區、北河東區）檢査場永長路小學校
▽廿五日　午前十時より順天、四道街、和順各署管內（元興安區、元順天區承德區、大屯區、東光區元大經區、双德區）檢査場は永長路小學校

續いて本檢査は二月三日から五日まで三日間永長路小學校で行はれる豫定である

感謝の眞心を　英靈に捧げませう

京着骨遺りお亘に回二ふけ

新東亞建設の尊い人柱として戰線の華と散つた〇〇柱のお遺骨は既報の如くけふ十二日午後二時十分と同三時十分の二回に亘り到着の豫定であるが市民はこの英靈を迎へるにあたり深甚な弔意を表し各戶に弔旗を掲揚することをお忘れなく又驛頭には多數送迎ありたい

資材、資金難で　精米業者開店休業

この機會に轉業させて整理

國民のお臺所へ七分搗が登場して二ヶ月餘り、黑いお米がすつかりお馴染になつてしまつたが、それでも全滿千に近い精米業者の約半數が資材難、資金難などの關係から未だ七分搗精米が出來ず難澁の精白で僅かに營業を續けてゐる狀態なので政府では關係機關と之が對策についてかねて具體案を練つた結果この程漸く大體の見透しがついたらしく再檢討のうへこれら精米業者の進路を示す事になつた

模樣である、これを機會に現在全滿精米業者が必要以上に多い傾向にあるのを轉業その他で一應整理する一方全面的な節米混食運動の機運を察知して地方的には買溜賣惜などが相當行はれてゐるらしいのでかくては現在相當圓滑化した米の配給に支障を來すものと取締陣の强化徹底を圖りこれ等闇取引の根絕を期すること になるものとみられてゐる

煤都をお化粧　昨夜吉野町にて

苦心の捜査資料は努力の結實へ一歩！

迷宮入りの杞憂を吹飛ばす

三笠町事件の搜查網は國都全市、近郊に蟻の這ひ出る隙間もないぐらゐ嚴重に張りめぐらされ、搜査本部では刻々搜査指令を八方に飛ばして犯人檢擧に腐心してゐるが、事件發生以來すでに六日（百二十六時間）を經過した今日、不眠不休の涙ぐましい活躍にも拘らず今尙眞犯人逮捕に到らず、本事件は此儘迷宮入りになるのではないかと一部には杞憂されてゐるが、酷寒と闘ひ必死の檢索に當つてゐる本部には未だ發表に到らぬ相當確實な搜查資料が齎らされてゐる模樣で、要するに檢擧は時間の問題だとさへ云はれてゐる、今のところ其の豫測を許されぬものゝ、不撓不屈の苦心の結果現在までに集められた搜查資料を綜合してみると

一、醫師方面の探索　逃走犯人三名の內一名は頭部を强打されて鮮血に塗れながら逃走した事實があるので搜查上有力な手掛りとして治療關係の檢索を續けて來たが既報の如く之に依つて釀し出された數件の別人繃帶の主が現はれて來て滿洲人の傳統的惡習慣を打破、犯人檢擧に協力、容疑者を發見した際本部に知らして來る傾向が日と共に昂つて來た事は一つに犯人逮捕の時期を一刻も早からしめる端緒ともなりいたく當局を感激せしめてゐるが、不幸この方面の探索も未だ何の手掛りを得るに到つてゐない模樣

一、質店方面の探索　巨昌源から强奪した金指環四點の行方につき市內近郊の質店を片ッ端しから檢索した結果、贓品發見に到らず滿洲人特有の路上賣買方面に向けられ特に鋭い目を光らせてゐる

一、馬車夫の搜索　犯人逃走に際して內一名が馬車用鞭を持つてゐたことが新事實として現はれ、犯人は市內或は近郊に居を構へて客荷馬車夫を業とするものゝ如くこの方面搜査の結果十日朝來本部には有力な參考人として二、三の馬車夫を引致取調べを行つてをり、一方鞭製作販賣店方面にも內偵の手を伸ばしてゐるが何の聞き込みもない模樣

一、客棧方面の探索　逃走以來足取究明に躍起の搜査本部に十日夕齎された聞込みによつて朧ろげながらも三犯人の輪郭を搜査線上に浮かばせたものの如くであるが、それによると近郊某所客棧に手配人相に酷似の三人連れが泊り使ひを飭つて手紙を何處かに持たしたと云ふのである、若し事實とすればこの點から推定して犯人らは或は市內か近郊かに生活根據を有する家族あるものと思はれ、この方面の追及に搜査力を集中するものゝ如くである

一、飲食店料理店方面の探索　死體解剖によつて得た資料により犯人の正體を摑むべく市內、近郊の飲食店を徹底的に調べてゐるが未だ何等の手掛りもない、城內新天地、頭道溝歡樂地その他近接部落の料理店に或は淫婦？の許へシケ込んではゐないか又豪膽にも搜査陣の目を盜んで紅燈の巷に入り込んで來はしないかと晝夜の別なく檢索を續けてゐるが端緒を得るに至らない

敷金はどうなる？

家賃統制の説明會

臨時房租統制法に基く家賃統制に關しては目下經濟部においてこれが實施の具體案を作成中であるが、新京商工公會では十一日午後一時から國防會館に各町會長主なる家主百五十名の出席を求め臨時房租統制法に關する説明會を開催、商工公會高橋副會長、孫常務理事等出席、沈市公署調査科長から統制法の説明あり、家主側からは「敷金を如何にするか」等の切實な當面の問題につき眞劍な質疑應答があつた

なほ住宅價格については廿五日までに各家主から市長宛に住宅家賃價格申告書を提出する一方、家主側の意見も考慮して公定家賃委員を擧げ諮問事項に關してさらに協議を進めることゝなつたが、家賃申告に關する佈告は市長から公布されることとなつてゐる

日本の姿を海外へ放送

【東京國通】日本放送協會では世界の各地に散在する邦人に祖國の眞の姿を傳へ且つ日本の正しい立場を知らしむべく海外放送を行つてゐるが、移りゆく國際情勢に即應し本年を期してこれを大擴張することになつた、現在海外放送は短波五十キロ一臺で歐洲、南米、北米東部、北米西部、支那及び南洋向けの五方面で八時間である

擴張計畫では更に短波五十キロ三臺に二十キロ一臺を增設しこの五方面に近東（トルコ、シリヤ、印度西部、その他隣邦）中米、ハワイ、濠洲、ニユージランドの五方面を擴充、放送時間も十五六時間に延長し放送後も現在の日、英、獨、佛、ポルドガル、スペイン、支那、オランダ各國語に新たにアラビヤ、イタリー、マレー、タイの各國語を加へる

極寒期の防空壕實驗

二十日南嶺で再開

交通部都邑計畫司防空股が能率協會と協力して舊臘廿五日から三日間新京南嶺練兵場で實驗中の冬期急造防空壕に關する試驗及び作業は年末年始のため一時休止中だつたが、來る廿日頃再開、三月上旬まで繼續のうへ壯烈な爆破試驗を行ふことになつた、この實驗は（イ）作業能率の實驗（ロ）壕內收容者に關する試驗（ハ）構造强度に關する調査の三部に分れてゐるが、嚴寒期の土地凍結のため同股木村技佐指導の下に師道學校生徒や苦力を百名以上動員しても作業が意外に手間取ること判明「いざ」の場合の用意に非常な參考となつたほかこの凍土を巧みに逆用する時は俄然コンクリート同樣な硬度を有して防空構造用に充分間に合ふことが心强くも豫想されるに至り、收容者に關する試驗の成績と併せてこの結果は寒國の防空上極めて重要視されてゐる

軍官學校日系生徒渡滿

【門司國通】滿洲國軍の將來を背負つて立つ陸軍々官學校豫科生徒百七十四名は同校幹部眞井少將に引率され十一日正午門司出帆の日滿連絡船扶桑丸で渡滿した

暗い街は　犯罪の溫床

三笠町の慘劇から街燈も防犯に一役

中央通署の明るいプラン

門松がとれようと云ふ六日夕方惹起した三笠町拳銃殺人强盗事件に、所轄中央通署では慘劇のあつた八丁目二番地附近一帶は滿人商舖が軒を並べてゐるとは云へ日が暮れるとゝもに商家は何れも大戶を下すために街燈の皆無と相俟つて各通路は眞暗闇となり延いては今回の如き事件及び剽盗、搔拂ひ等の犯行を働くのに恰好な場所とも云へるので舊正を目睫に控へてこの種血腥い事件は勿論、辻强盗、コソ泥に至るまでの朦朧不逞分子の跋扈を未然に退治するには先づもつて街を明るくすることが肝要であると、同署管內の眞暗闇の個所調査に乘り出す一方、街燈の設置並に增設につきこれが燈數、經費等に關して近く關係方面と協議することゝなつた模樣で、電力消費合理化の折柄とは云へ防犯的見地からこれが實現は焦眉の急とされ多大の期待がかけられてゐる

捜査本部へ慰問金

松村信幸氏の篤志に感激

三笠町殺人强盗事件發生以來首都警察廳搜査陣は文字通り不眠不休の涙ぐましき活動を續けつゝあるが、その搜査陣不屈の活動は圖らずも市民の警察當局に對する信賴と感謝の念となつて現はれ、この程ダイヤ街扇芳亭の松村信幸氏は中央通署の搜査本部に谷日司法科長を訪ひ、搜査陣連日の勞を犒ふ慰問の言葉を述べ慰勞の一端にと金二百圓を寄贈した、この奇特の行爲は一面警民協力の現はれとしていたく警察當局を感激せしめてゐる

醉漢驛員に狼藉

留置所へ逆もどり

十日午後十一時五十分頃新京驛食堂で飲酒酩酊の上場所柄も辨へずに從業員に亂暴狼藉を働いてゐる邦人を警戒中の警護隊員が制止しようとするのに却つて喰つてかゝるので隊に同行檢束した右は東安省密山縣二人班成隆屯滿洲拓植會社出張所員木下重男（三二）で、十日午前十時嚴重説諭して釋放したところ又復十一日午前一時頃酩酊ふら／＼となりながら構內を徘徊してゐるのを隊員が見附けて再度留置場へ逆戻り、目下これが原因につき取調べてゐる

西へ二點の白星

春場所初日對抗戰に力鬪

【東京國通】春場所大相撲初日の十一日は東西對抗勝負の復活に人氣を呼び超滿員の活況を呈し、第一日は東方十一點、西方は十三點を獲得、西方二點を勝越した、中入後の勝負左の通り

勝	決り手	負
四海波	吊出し	幡瀨川
藤ノ里	押出し	源氏山
桂川	押出し	櫻錦
九ケ錦	寄倒し	神東山
大和錦	浴倒し	松浦潟
小松山	寄倒し	一渡
駒ノ里	推落し	小島川
倭岩	打棄り	鯱ノ里
佐賀ノ花	寄切り	出羽ノ花
金湊	引落し	松ノ里
大潮	寄倒し	兩國
綾若	叩込み	大浪
磐石	浴倒し	笠置山
照國	蹴返し	龍王山
五ッ島	推落し	青葉山
鹿島洋	寄切り	楯甲
綾昇	突出し	旭川
出羽湊	外掛け	玉ノ海
富士ケ嶽	突落し	安藝ノ海
太邱山	上手投	名寄岩
前田山	寄切り	巴潟
羽黒山	突出し	肥州山
男女ノ川	押倒し	鶴ケ嶺
双葉山	上手投	相模川

打出し八時五十分

七分搗

▼畜產振興に重要な位置を占める緬羊の飼育及び羊毛、羊肉の研究に多年辛酸を積んだ公主嶺農事試驗場では漸くその增殖改良の成果を得た▼まづ十五日午後六時ヤマトホテルに產業部畜產科の斡旋で總務長官、畜產會社、滿拓及び軍關係の首腦部を集め緬羊肉の試食會を催すことになつた▼そこでお歷々が緬羊肉鍋をつゝきながら戰時下の食糧問題や羊毛國策につき隔意ない意見を交さうといふ會合である

海軍航空の豫備學生を募集

【東京國通】海軍航空豫備學生は海の荒鷲として今次事變以來戰線各地において目ざましい活躍を示してきたが、この程更に一般から募集することになり十一日附官報で左の通り發表した

一、志願者の資格　大學令による大學の工學部卒業者で昭和十五年四月一日において廿六歳未滿の者及び工業專門學校卒業者で昭和十五年四月一日において廿四歳未滿の者

二、志願手續、志願期日　志願者は志願關係書類を來る廿日から三月五日迄に海軍大臣宛差出すこと

けふの天氣　北後西の風晴れたり曇つたり
きのふの氣溫　最高零下五度七　最低零下二[illegible]度二

淺春胡同【三】

工 清定
白崎 海紀（繪）

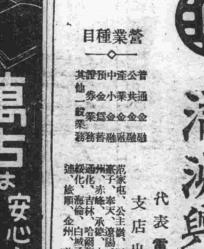
白い蘭【一】

出征の前夜、まだ皮革の新しい包ひがする双眼鏡と共に、黒田が殘していつた黒表紙のノートをめくつてみた哲也は、今更のやうにこの親友の綿密周到な潜行記錄に、敬意を表せずにはゐられなかつた。

そこには街頭の拉車的の喧嘩目擊記もあつた。麻雀莊常連の尾行錄もあつた。カフエ無錢飲食者の描寫もあつた。さらにそのノートは、黒田が吉林街道方面の支那料理店へ登樓したことや、大經路の滿人理髪館に出入したことまでを語つてゐた。

しかしその何れよりも哲也の心をひいたものは、何といつても、かなり幅廣くその頁を占めてゐる、日本紙幣蒐集狂の行動である事は、いふまでもなかつた。そして二三回の街頭追跡失敗も、併せ記されてあるその記錄は、アルメニヤを舞臺とした主役寸田と、源作とが必ずしも無關係でないらしい黒田の推理にまで及んでゐた。

度々の變裝に根氣よく苦心したらしい黒田に、哲也は自づと頭のさがるのを覺えた。路上でルミに五十錢を借りた情景や、三度目の追跡に、五馬路の煙草屋で寸田を見失つた所を、ルミに皮肉られた挿話は、一面、哲也の唇を綻びさせずにはおかなかつた。

——黒田の内職を承け繼ぐことは、寸田の正體をつきとめることであり、寸田對源作の關係をさぐることである以上、哲也は客として由良之助に行つて源作に逢ひ、父の舊從卒としての西口の家へ赴くのに、何ら憚るところはない筈だつた。しかしただ、アルメニヤの客となつて、千也子に逢ふことだけが、恐しかつた。黒表紙のノートには、黒田の千也子に對する心境が、かなり露骨に浮き出てゐたからである。

千也子に對する哲也の氣持、それは今更せん術もないものであつた。（黒田は聖戰に從つて留守ではないか。凱旋するまで千也子の身邊を守つてやることこそ、黒田に對する友情として、俺が是非行はねばならぬことでないか。）哲也は幾度となく自分の心に言ひきかせた。しかし哲也の心は容易に搯伏しないのだつた。

さうした哲也であつてみれば、あの夜以來一萬圓事件の其後を、氣にかけながらも、十日あまりもアルメニヤへ行く氣になれなかつたのも、やむを得ないことであらう。

高麗鶯も、店頭へ吊り出された籠の中で、威勢よく胸を張つて囀りはじめ、去年の十月から室内の埃を被つてゐた盆栽類も、日盛り二三時間の日光の直射に當てるために、軒先に並べられるやうになると、路面を封じてゐた氷もゆるんで、新しい馬糞を油繪具のやうに、だんだん溶かしつつ流れ出した。

理髪店へ出かけた哲也は、手入れした頭髪のやうに、清々しい氣持におだてられて、うきうきと夕暮のアルメニヤの扉を押した。

「まあ、村崎さん、あんまりよ。ひどいお見限りね」

椅子に腰をおろした所へ、走り寄つて來るなり、心易く肩を叩きながら、怨みがましくルミが横目でにらんだ。哲也は途端に背中がむづがゆくなつた。

そこへ百合子が來て

「ほんとにね。千ちやんの休んでゐるのも知らないのでせう。」と覗きこんだ。

「え？休んでるつて、どうしたんだい？」

ふりむきざま叫んだ哲也のむぎな顔に、二人は眼を見合はせて、焦らせるやうに默りこんだ。

列車發着表

○大連方面行

- 大連行 前二時三十分
- 奉天行 六時廿五分
- 釜山行 八時
- 奉天行 八時卅五分
- 大連行 九時三十分
- 營口行 十時三十分
- 四平街行 十二時三十分
- 奉天行 後一時五分
- 大連行 一時四十分
- 大連行 二時三十分
- 大連行 三時廿五分
- 四平街行 四時五十分
- 釜山行 六時五十分
- 四平街行 七時四十分
- 大連行 九時四十分
- 大連行 十一時十三分
- 奉天行 十一時三十分

○哈爾濱方面行

- 哈爾濱行 前三時四十三分
- 德惠行 五時十五分
- 哈爾濱行 六時三十分
- 哈爾濱行 八時十分
- 哈爾濱行 九時
- 哈爾濱行 後十二時五十三分
- 哈爾濱行 三時十五分
- 哈爾濱行 五時三十分
- 德惠行 七時十分
- 哈爾濱行 十時卅五分
- 牡丹江行 十一時四十三分

○圖們方面行

- 吉林行 前七時五分
- 羅津行 八時卅五分
- 圖們行 九時四十五分
- 吉林行 後一時
- 牡丹江行 三時二十分
- 吉林行 七時廿五分
- 満津行 十時五分

○白城子方面行

- 白城子行 前八時廿五分
- 白城子行 十時五十四分
- 前郭旗行 後五時三十分

○大連方面より

- 大連發 前三時卅二分
- 大連發 六時十八分
- 奉天發 七時四十五分
- 大連發 八時
- 奉天發 八時四十六分
- 四平街發 九時四十分
- 四平街發 十時卅二分
- 釜山發 十二時四十二分
- 奉天發 後十二時三十分
- 大連發 三時
- 大連發 四時二十分
- 大連發 五時二十分
- 營口發 六時四十八分
- 大連發 八時二十分
- 奉天發 九時廿五分
- 釜山發 九時四十五分
- 奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より

- 德惠發 前零時三十分
- 哈爾濱發 二時二十分
- 牡丹江發 六時五十四分
- 哈爾濱發 七時四十四分
- 德惠發 十一時三十分
- 哈爾濱發 後十二時五十分
- 哈爾濱發 一時三十分
- 哈爾濱發 三時十分
- 哈爾濱發 六時四十分
- 哈爾濱發 九時三十分
- 哈爾濱發 十一時三分

○圖們方面より

- 満津發 前七時五十三分
- 吉林發 十一時廿四分
- 牡丹江發 後二時十分
- 吉林發 五時廿一分
- 圖們發 八時四十分
- 羅津發 九時三十分
- 吉林發 十一時十五分

○白城子方面より

- 前郭旗發 十二時一分
- 白城子發 後六時卅二分
- 白城子發 九時五分

大阪商船出帆

門司、神戸行

- 黒龍丸 一月十三日
- 扶桑丸 一月十五日
- 吉林丸 一月十七日
- うすりい丸 一月十八日
- 鴨緑丸 一月二十日
- 熱河丸 一月廿二日
- うらる丸 一月廿三日

（午前十一時大連出帆）

三角、鹿兒島那覇行

- 大同丸 一月廿五日 午後三時大連發

事務所＝大連、奉天、新京哈爾濱、驛とビューローで連絡切符發賣